

よこてきた
国道13号 横手北道路
計画段階評価
第2回 説明資料

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第1回地域の意見聴取結果の確認
3. 政策目標の設定
4. 対応方針（ルート帯案）の検討
5. 第2回地域の意見聴取の方法

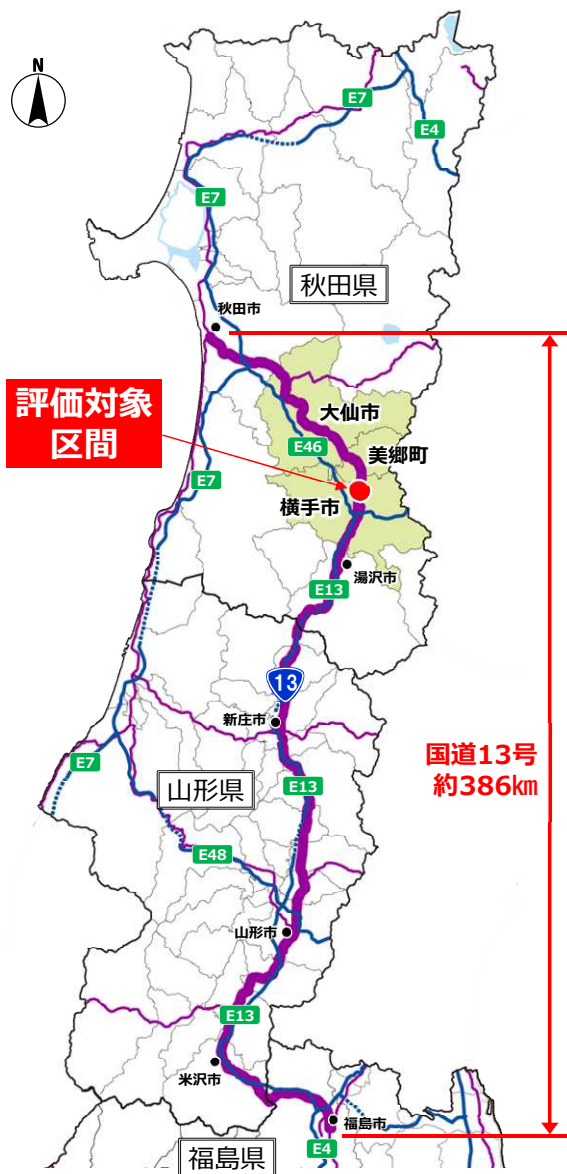
令和3年11月30日
国土交通省 東北地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

- ◆ 国道13号は、福島県福島市を起点に山形県内主要都市、秋田県横手市等を経由し秋田市に至る延長約386kmの直轄国道。
- ◆ 評価対象区間(以下、「対象区間」)は、横手バイパスの終点部から美郷町境付近までの延長約6kmの2車線区間である。

【図1】広域図



【図2】対象地域位置図



1-2. 前回(第1回)審議内容

■第32回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：令和2年10月23日(金)開催

- 議事：①評価対象区間について
 ②地域の概況
 ③道路の現状と課題
 ④地域の現状と課題
 ⑤政策目標(案)
 ⑥意見聴取方法(案)
 ⑦今後の計画段階評価のすすめ方(案)

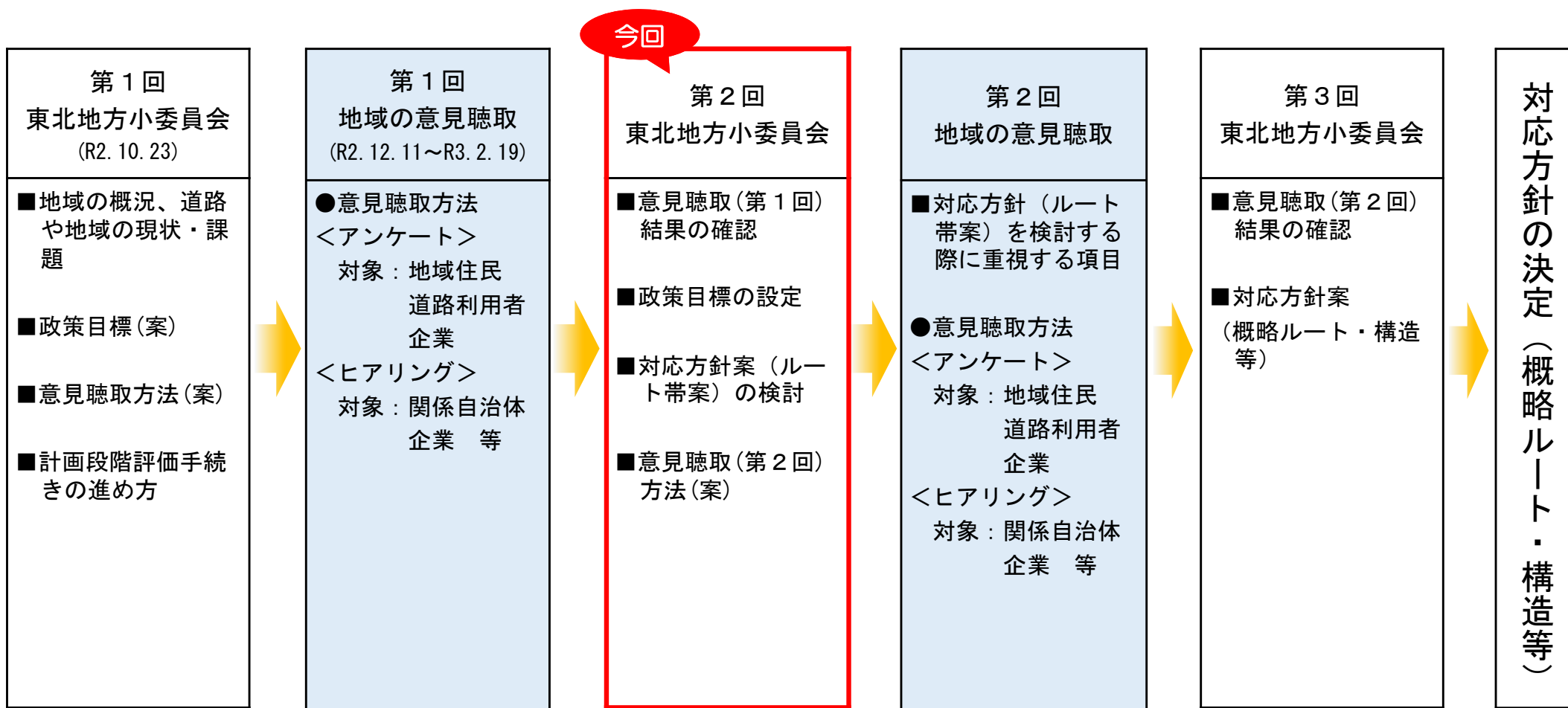
【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期課題が多いことから、アンケートの質問を工夫すること。なお、冬期課題と通年課題のバランスに留意すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課題について、回答欄を「冬期」「冬期以外」に分けて、時期ごとに意見を伺うように調査を実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、約何分と回答時間を明記し回答しやすくするなど配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの表紙に回答時間を記載。

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、ルート帯案について検討を行う。

計画段階評価



地方小委員会

2. 第1回地域の意見聴取結果の確認

2-1. 地域の意見聴取(第1回)の実施内容

◆ 地域の意見聴取(第1回)は、地域住民・事業者・道路利用者へのアンケート調査、および関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和2年12月11日～令和3年2月19日

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

項目		調査手法・規模
地域住民	横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)	意見聴取範囲の全戸を対象とした郵送配布(36,773世帯)
事業者等	沿線事業所	横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)の製造業者 沿線の物流業者 郵送配布(175事業所)
道路利用者	沿線の道路利用者	WEB留置(16か所)

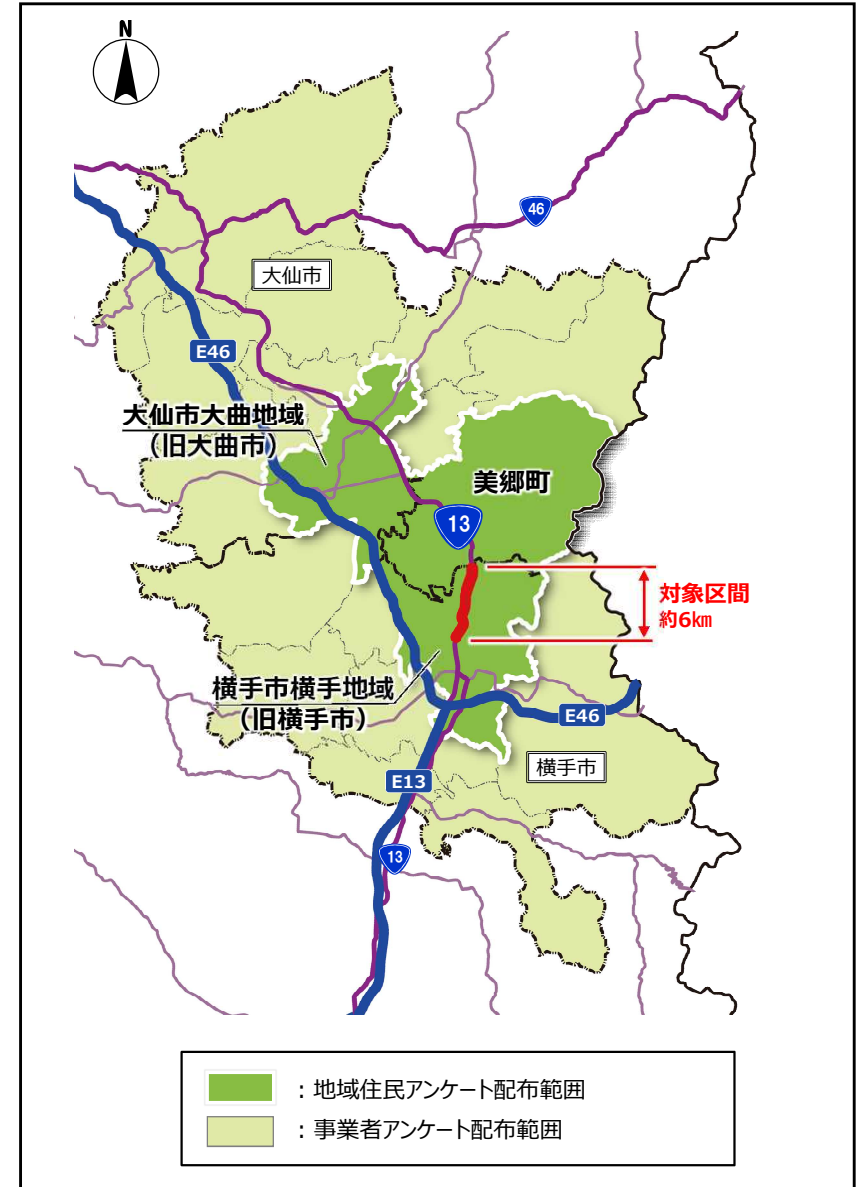
※留置アンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

- 国交省: 湯沢河川国道事務所
- 秋田県: 平鹿地域振興局、仙北地域振興局
- 横手市: 市役所本庁舎、秋田ふるさと村、横手市ふれあいセンターかまくら館、横手市交流センターY2(わいわい)ぶらざ
- 美郷町: 町役場、仙南出張所、六郷出張所、美郷町総合体育館リリオス
- 大仙市: 市役所 大曲庁舎、南庁舎、大仙市大曲体育館
- 道の駅: 十文字、美郷

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

調査対象団体(25社・団体)			
関係団体	○横手市、美郷町、大仙市	○トラック協会【1団体】	○医療施設【1団体】
	○秋田県	○農業協同組合【2団体】	
	○観光協会【3団体】	○消防機関【2団体】	
	○バス協会【1団体】	○学校【2団体】	
	○警察機関【1団体】	○自動車関連企業【3社】	
	○経済団体【3団体】	○福祉施設【2団体】	

<アンケート配布範囲>



2-2. 地域の意見聴取(第1回)のアンケート回収状況

- ◆ 地域住民へのアンケートは、横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)に全戸配布、Webアンケート・留置アンケートを実施。全体の回収数は14,120票、郵送配布における世帯単位での回収率は21%となった。
- ◆ 事業者へのアンケートは、対象地域の製造業者、沿線の物流業者を対象に行い、回収数は73票、回収率は42%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
住民・ 道路利用者	郵送配布 (回答ハガキを2枚添付)	36,773世帯 (73,546票)※	7,631世帯 (12,279票)※	21% (17%)
	留置 (回答ハガキを2枚添付)	—	277票 (495票)※	—
	Web	—	1,346票	—
	合計	—	9,254票 (14,120票)※	—
事業者	郵送配布	175票	73票 (うち10票はWeb)	42%
	Web	—	24票	—
	合計	—	97票	—

※ () 内は1枚目・2枚目を合計した数

- ◆ 調査票(はがき)に、世帯ごとに異なるナンバリングを行い、回答した世帯数を把握できるように調査を実施。
- ◆ 課題について、各設問で「冬期」「冬期以外」に分けた形とし、時期毎に意見を伺うように調査を実施。
- ◆ アンケートの表紙に回答時間を記載し、回答しやすくなるように調査を実施。

■ 地域意見聴取内容

- [回答者属性] 年齢、職業、性別、住所
- [問1] 国道13号の利用状況(目的、手段、頻度)
- [問2] 地域課題について
- [問3] その他意見・要望

<はがき表面>

1枚目 **1世帯あたり2枚配布** **2枚目**

郵便はがき (1枚目) 料金受取人私郵便 0128790 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課 アンケート事務局 行

郵便はがき (2枚目) 料金受取人私郵便 0128790 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課 アンケート事務局 行

あなたについてお聞かせください

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	性別	男・女
職業	会社員・公務員・自営業 学生・主婦・無職 その他()	性別	男・女
住所	郵便番号 [] [] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []		
運転免許	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます。)

→裏面に続きます **1**

調査票に世帯ごとのナンバリングを行い、回答した世帯数を把握できるように調査

<はがき裏面>

こちらは裏面(表面からの続き)です。 (1枚目)

質問① 国道13号(石町~榊柳間)の道路利用についてお聞きします。

A. 主な利用目的	1	2	3	4	5	6
B. 主な移動手段	1	2	3	4	5	
C. 利用頻度	1	2	3	4	5	6

質問②-1 課題についてお聞きします。

項目	時期	そう思う	ややそう思う	どちらとも思えない	あまり思わない	全く思わない
渋滞が発生している	冬期(12~3月)	1	2	3	4	5
	冬期以外(4~11月)	1	2	3	4	5
交通事故が多い	冬期(12~3月)	1	2	3	4	5
	冬期以外(4~11月)	1	2	3	4	5
トラック輸送に問題が発生している	冬期(12~3月)	1	2	3	4	5
	冬期以外(4~11月)	1	2	3	4	5
道幅が狭く、救急搬送の支障になっている	冬期(12~3月)	1	2	3	4	5
	冬期以外(4~11月)	1	2	3	4	5

質問②-2 上記を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

質問③ その他、国道13号(石町~榊柳間)について、ご意見・要望がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

「冬期」、「冬期以外」に分類し、時期毎に意見を伺えるように調査

<アンケート表紙>

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道13号(横手市石町~美郷町榊柳間)道路計画に関するアンケート

全3問 (約4分程度)

問題数・回答時間を標記し回答しやすくなるように工夫

対象区間 国道13号(横手市石町~美郷町榊柳間)

今回のアンケートと道路計画の流れ

- 地域や道路交通の現状と課題の整理
- アンケート
- 政策目標の設定 対応方針案の検討
- アンケート
- 対応方針の決定

県南・中央地域を結ぶ国道13号(横手市石町~美郷町榊柳間)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

詳しくは「東北地方整備局 湯沢河川国道事務所のHP」へアクセス願います。 湯沢河川国道事務所

インターネットによる回答を行う場合は下記のQRコードか、

「湯沢河川国道事務所」で検索し、右記のバーコードからアクセスしてください。(QRコードの解読は、(株)アスキーの登録商標です。)

お問い合わせ 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課

TEL 0183-73-5559 FAX 0183-72-2488 (平日 9:00~17:00)

2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(アンケート調査)

- ◆ アンケート調査は、住民への調査票の配布、留置き、Webを実施。
- ◆ 課題の認識を高めるため、湯沢河川国道事務所のホームページへ課題を詳しく掲載した。
- ◆ 調査の周知に向けて、新聞広告や自治体広報・HP(国交省、秋田県、横手市、美郷町、大仙市)への掲載を実施。

【図1】調査票



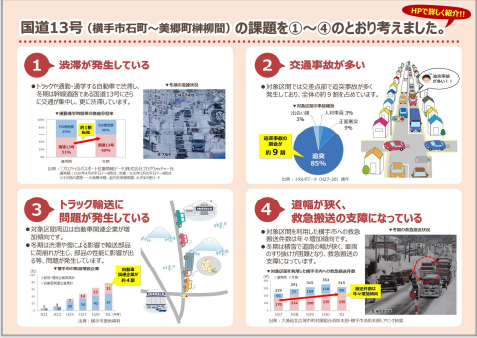
【図2】Webアンケート



【図4】自治体広報・HP



【図5】自治体広報誌での周知チラシ



【図3】新聞広告



事務所HPで課題内容を掲載

【写真1】アンケート留置き状況



【写真2】回収はがき



アンケートにご協力をお願いします。

国道13号(横手市石町～美郷町神柳間)の道路計画に関するアンケート調査を実施しております。

アンケート実施期間: 令和3年2月19日(金)まで

回答はがきによる回答
インターネットによる回答

お問合わせ先
国土交通省東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課
〒012-0862 秋田県湯沢市上湯沢 1-1-1 電話 0183-73-5559 1階 09:00~17:00
http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道13号(横手市石町～美郷町神柳間)道路計画に関するアンケート

3月4日(日)まで

回答期間 令和3年2月19日(金)まで

回答方法
① 回答用はがきによる回答
② インターネットによる回答

お問合わせ先
国土交通省東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課
0183-73-5559 0183-72-2488

◆ 沿線自治体等の関係団体(25企業・団体)に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査(訪問・電話調査)を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- ・国道13号の利用状況について
- ・地域課題について
- ・その他意見・要望

【表2】ヒアリング調査の対象

分類	No.	企業・団体名	所在地
市町村	1	横手市	横手市
	2	美郷町	美郷町
	3	大仙市	大仙市
県	4	秋田県	秋田市
農業協同組合	5	JA秋田ふるさと	横手市
	6	JA秋田おばこ	大仙市
経済団体	7	横手商工会議所	横手市
	8	美郷町商工会	美郷町
	9	大曲商工会議所	大仙市
トラック協会	10	公益社団法人 秋田県トラック協会	秋田市
観光団体	11	横手市観光協会	横手市
	12	あきた美郷づくり株式会社	美郷町
	13	大仙市観光物産協会	大仙市
消防機関	14	横手市消防本部	横手市
	15	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	大仙市
医療機関	16	平鹿総合病院	横手市
警察機関	17	横手警察署	横手市
バス協会	18	公益社団法人 秋田県バス協会	秋田市
学校	19	横手北小学校	横手市
	20	横手北中学校	横手市
自動車関連企業	21	日発精密工業株式会社	横手市
	22	秋田上日工業株式会社	大仙市
	23	秋田昭和産業株式会社	美郷町
福祉施設	24	介護老人保健施設やすらぎの苑	横手市
	25	特別養護老人ホームロートピア緑泉	美郷町

【写真1】横手商工会議所



【写真2】秋田上日工業株式会社



【写真3】特別養護老人ホームロートピア

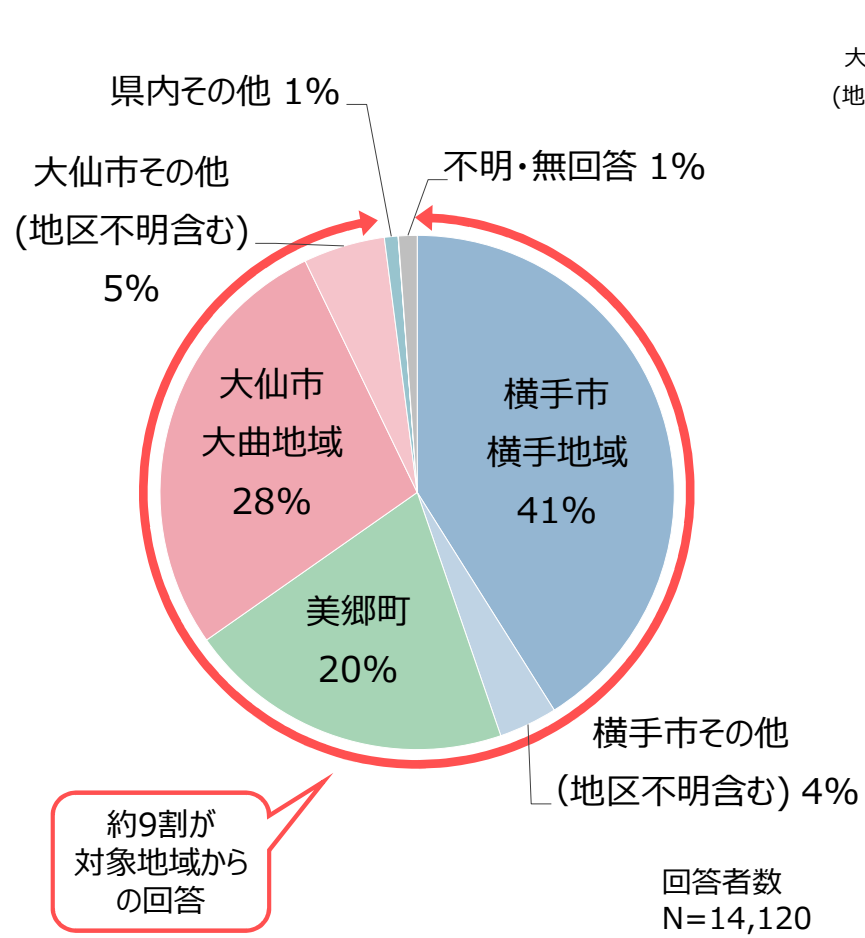


2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

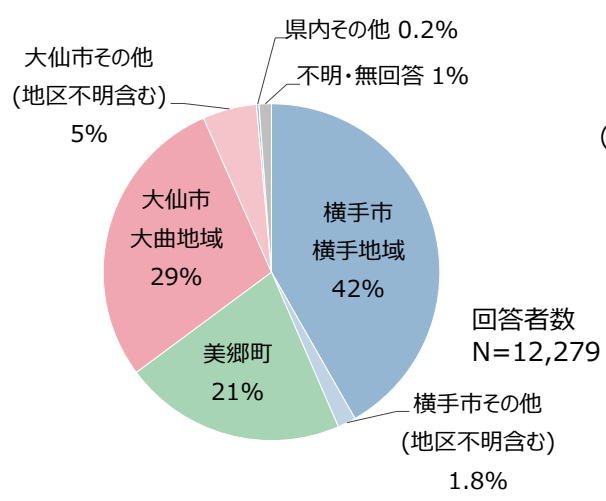
◆ アンケート結果は、約9割が対象地域からの回答であり、すべての回答方法において、市町別配布割合と概ね整合した結果となった。

あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:地域区分)

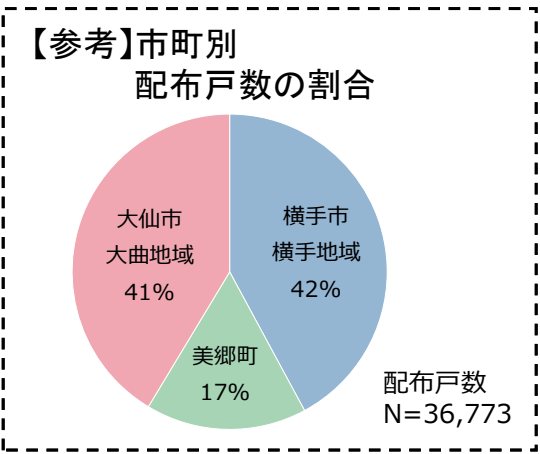
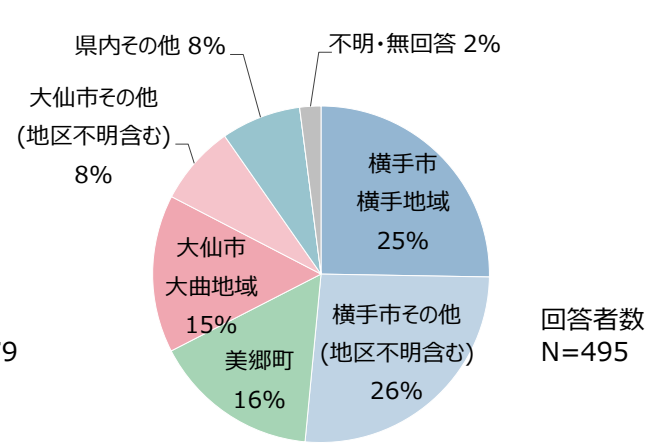
【図1】回答者居住地分布



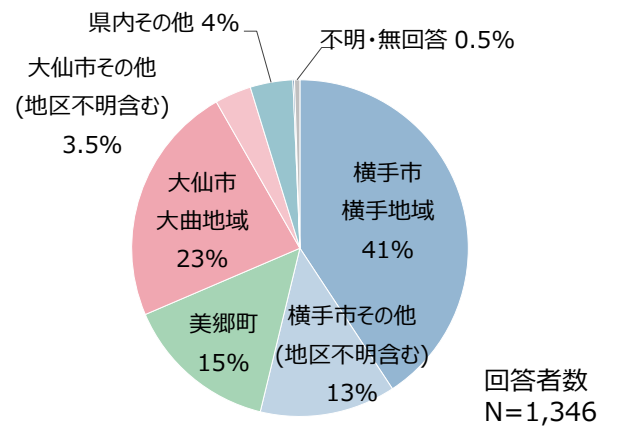
【図2】回答者居住地分布(郵送)



【図3】回答者居住地分布(留置き)



【図4】回答者居住地分布(WEBアンケート)



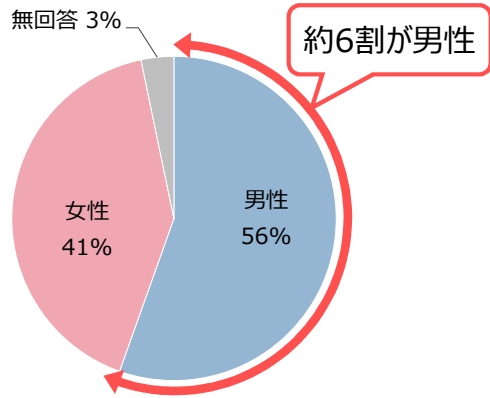
2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

◆ アンケート結果は、性別・年齢・就業率ともに対象地域の統計データと概ね整合した結果となった。

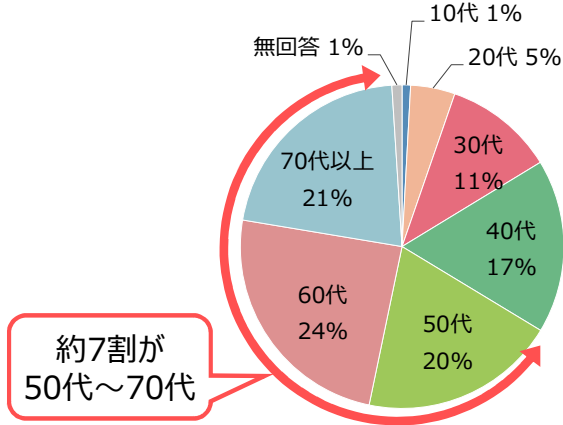
あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:性別、年齢、職業)

アンケート結果

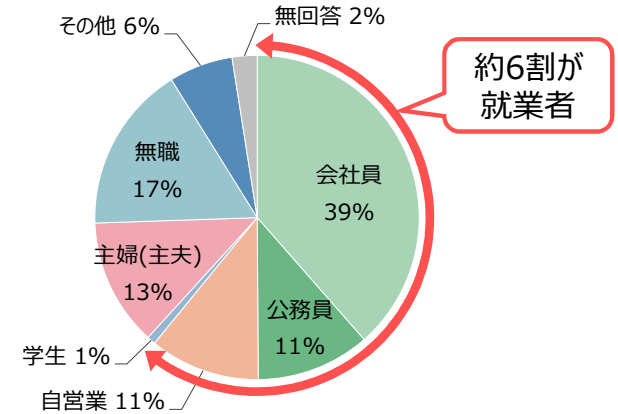
【図1】性別



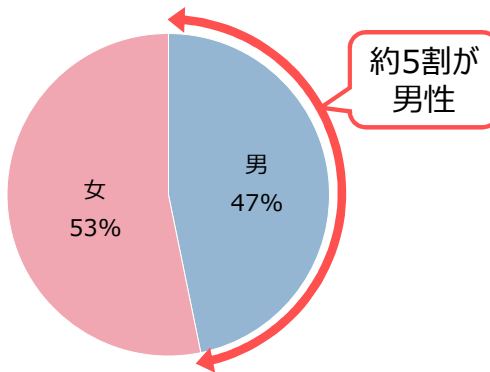
【図2】年齢



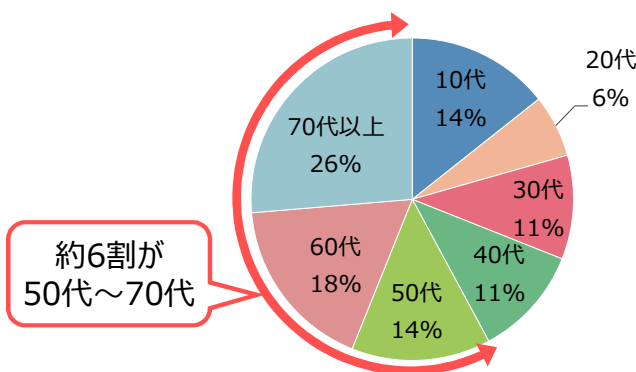
【図3】職業



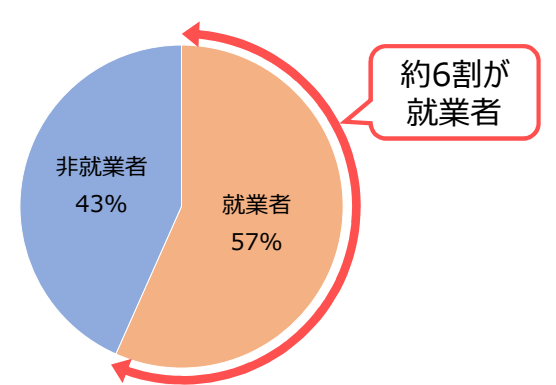
【参考図1】性別



【参考図2】年齢



【参考図3】就業率※2



※1対象地域: 横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)

※2就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

出典: H27国勢調査

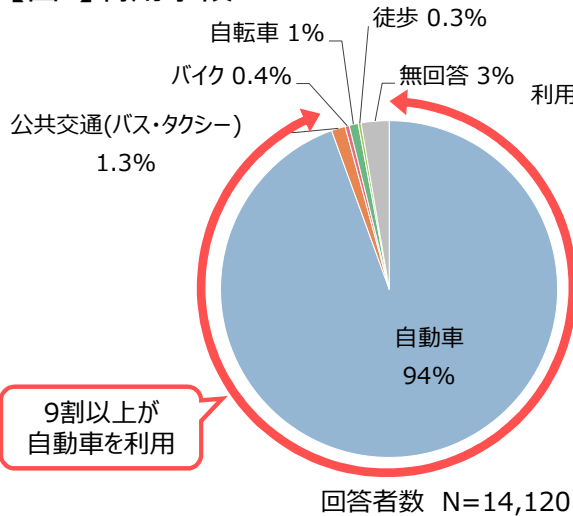
「参考」※1 対象地域の統計データ

2-4. 住民等への意見聴取の結果(道路利用)

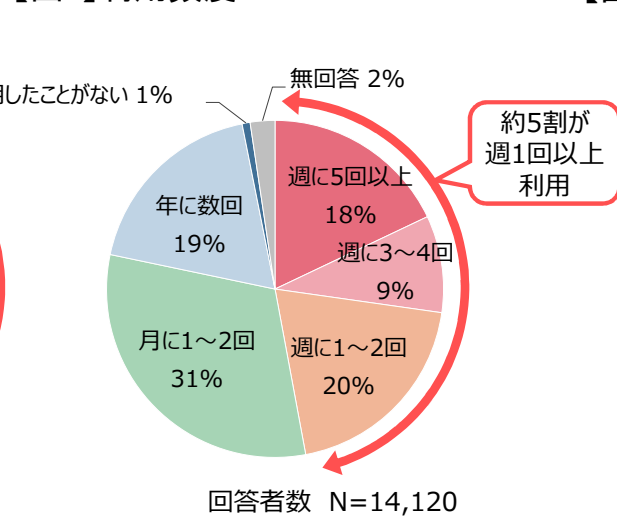
- ◆ 利用手段は「自動車」が約9割を占めており、利用目的では日常的利用が約6割を占めている。
- ◆ 利用頻度は週1回以上の利用が約5割を占めており、自治体別では美郷町と横手市が約6割を占めている。
- ◆ 利用頻度の利用目的別は、「通勤・通学」と「仕事(営業・運送等)」の週1回以上の利用割合が高い。

質問① 国道13号(石町～榊柳間)の道路利用についてお聞きします。

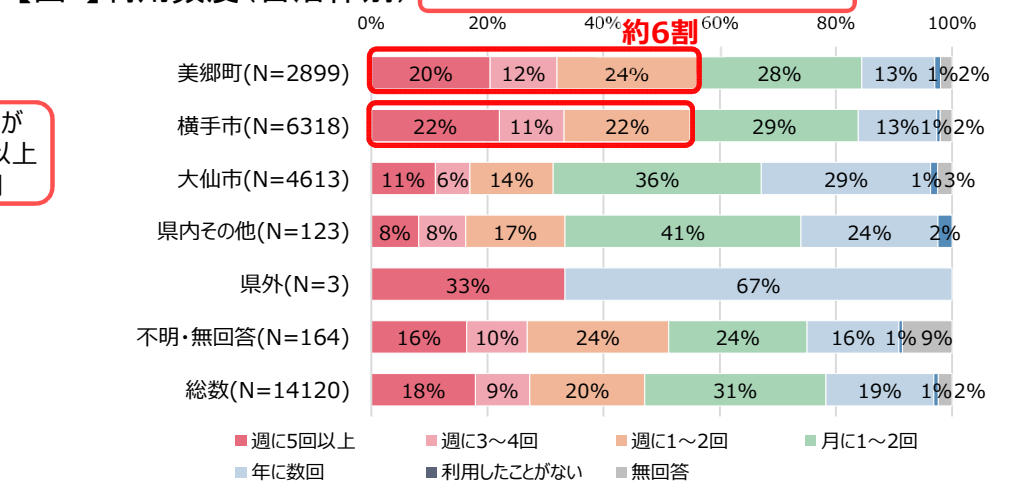
【図1】利用手段



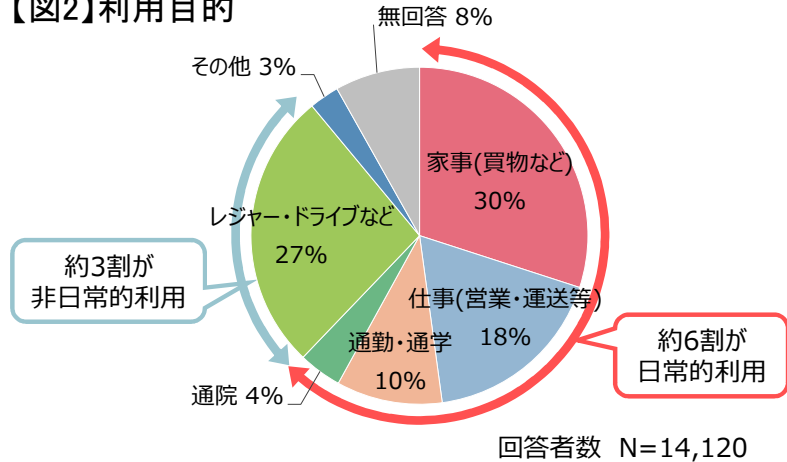
【図3】利用頻度



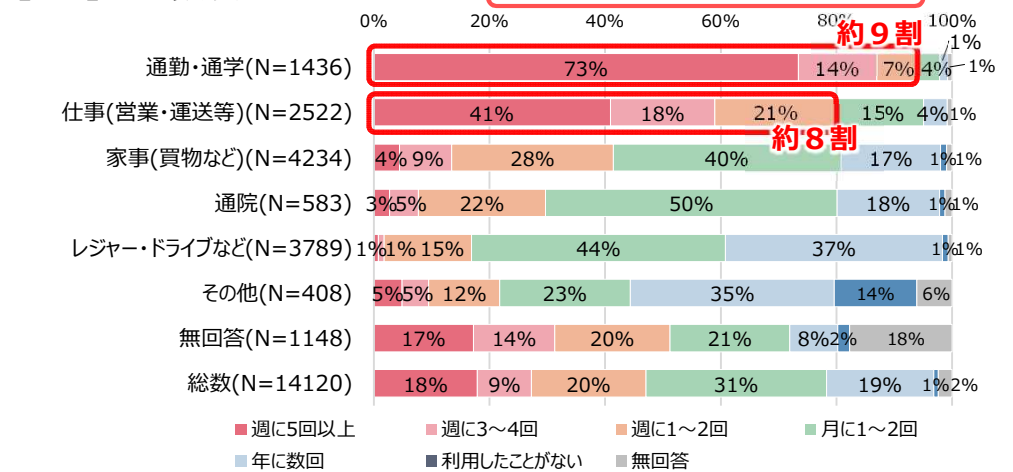
【図4】利用頻度(自治体別)



【図2】利用目的



【図5】利用頻度(利用目的別)



2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

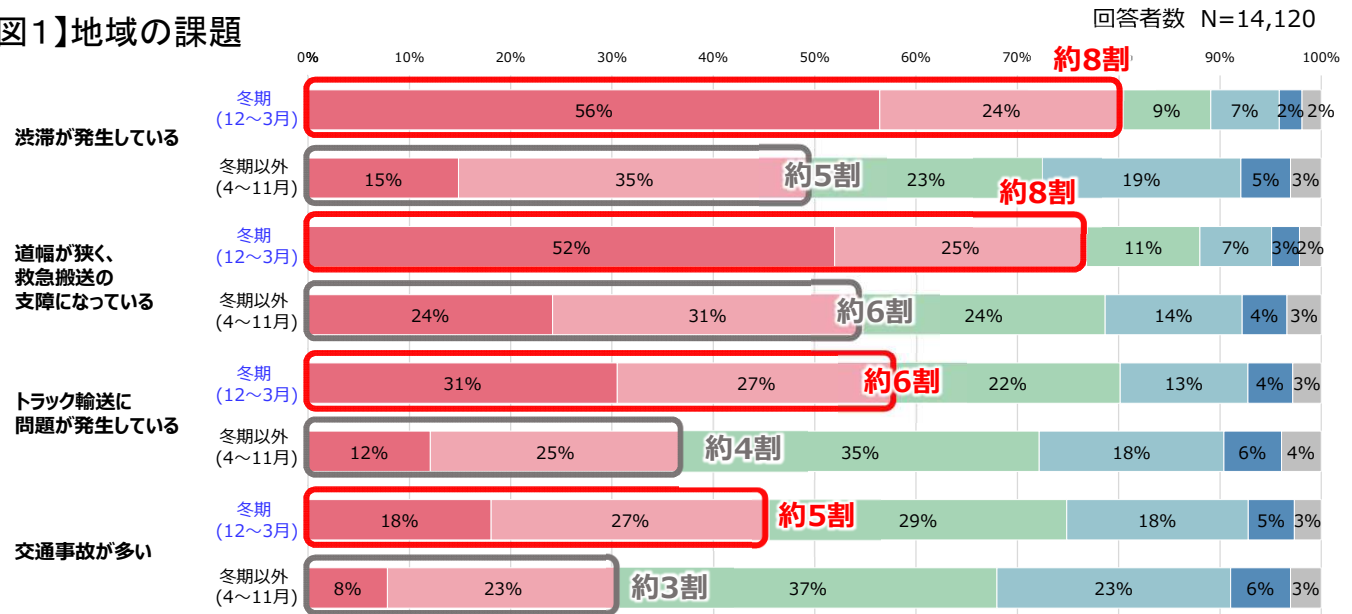
- ◆ 「渋滞が発生している」や「道幅が狭く、救急搬送の支障になっている」は、冬期で約8割が課題と感じている。
- ◆ 「トラック輸送に問題が発生している」や「交通事故が多い」は、冬期の利用頻度が多いほど、課題の認識が高い。

質問② 課題についてお聞きします。
 ・以下の各項目について、「そう思う」～「全く思わない」の各5段階で評価し、あてはまる番号1つに○を付けてください。

- 質問②-1 課題について
- ・渋滞が発生している(冬期・冬期以外)
 - ・交通事故が多い(冬期・冬期以外)
 - ・トラック輸送に問題が発生している(冬期・冬期以外)
 - ・道幅が狭く、救急搬送の支障になっている(冬期・冬期以外)

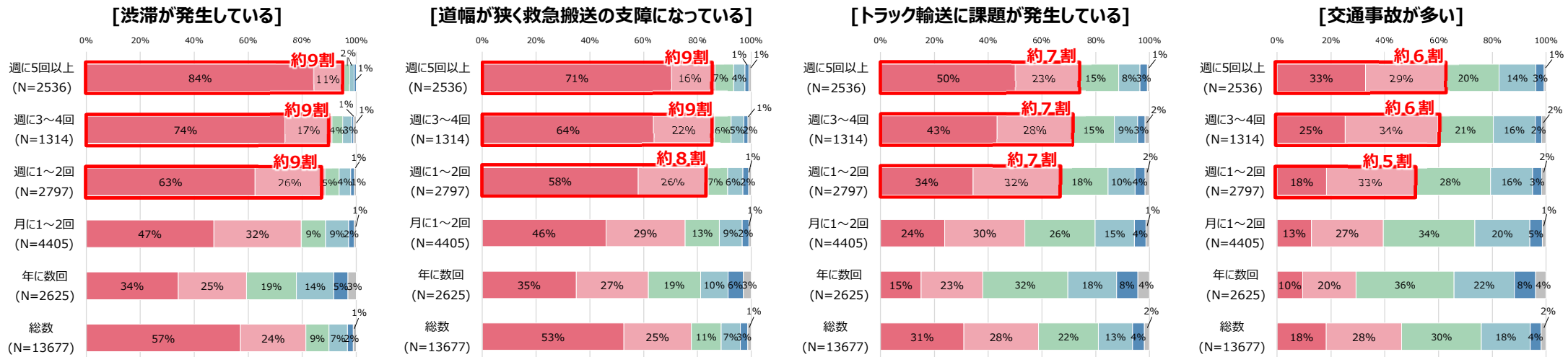
■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言えない
 ■ あまり思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

【図1】地域の課題



【図2】冬期の利用頻度別集計 (12~3月)

※地域課題は冬期に課題と感じている割合が高いことから冬期の利用頻度による課題集計



※利用頻度無回答があるため、回答者数と【図2】総数は一致しない。

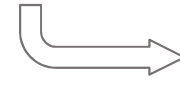
2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

- ◆ 課題に対する自由意見について、ほとんどが冬期の意見であった。
- ◆ 交通環境については「冬期の道路幅員狭小による事故の危険性や渋滞」等の意見、物流・産業については「渋滞や積雪などにより交通に支障が出ている」等の意見、医療については「救急車が来ても道をあけられない」等の意見をいただいた。

質問②-2 ○を付けた主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(回答者数5,036人)

分類 ()内は冬期意見数		主な意見	
地域課題 【4,687件】 (4,575件)	交通環境 【4,115件】 (4,013件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕に通勤者が多いため、<u>渋滞が発生</u>している。また、<u>交通量が多</u>いため、脇道から入るのが難しい。 ・<u>道路幅員が大変狭く</u>、ブレーキを踏む回数が多い。また、時間に関係なく、<u>追突事故が多い</u>。 ・<u>追突事故が多く</u>、交差点で停止して<u>追突された</u>ことがある。 ・車の<u>右左折</u>で車が進まない事があり<u>事故がおこる可能性がある</u>。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員が狭い区間(金沢中野地区等)は、大雪時に<u>道路幅員が非常に狭く</u>なり、対向車とぶつかりそうになり<u>危険を感じる</u>。 ・特に冬期間、<u>秋田自動車道が通行止めとなった場合</u>、<u>渋滞が激しい</u>。 ・特に<u>冬期</u>、<u>道路幅員が狭く</u>車の流れが悪くなり、時間をかなり要する。 ・特に<u>冬期は歩道幅員が狭く車道を歩く人もいて危険</u>。歩道を広げてほしい。
	物流・産業 【423件】 (418件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>トラックの交通量が多く</u>、一車線であるため<u>常に混み合っている</u>。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送の主要道路となっており、特に<u>冬期の渋滞や積雪、凍結などにより交通に支障が出ていると感じる</u>。 ・対象区間を<u>改善できれば冬期も輸送がスムーズになる</u>と思う。
	医療 【149件】 (144件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・時期に関係なく、道路幅員が狭いため、<u>救急車がきても道をあけられない</u>。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間は、金沢中野地区の<u>通勤時間帯の渋滞がひどく</u>、<u>救急車も通れず困っている</u>。
その他 【1,110件】 (934件)	整備への要望 【922件】 (895件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間を利用する人達の為に、早く道路計画を進めてほしい。 ・湯沢市～秋田市間の国道13号を全て4車線化して交通の流れを良くすることが、市の発展に繋がると思う。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関がないため車で移動しているが、大雪が降ると移動に時間がかかり過ぎるので4車線化してほしい。
	その他 【188件】 (39件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が低くなっている部分があり、<u>大雨の時に冠水する事があるため対策してほしい</u>。 ・<u>災害時に確実に通れるようにしてほしい</u>。
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・路面凍結を解消してほしい。

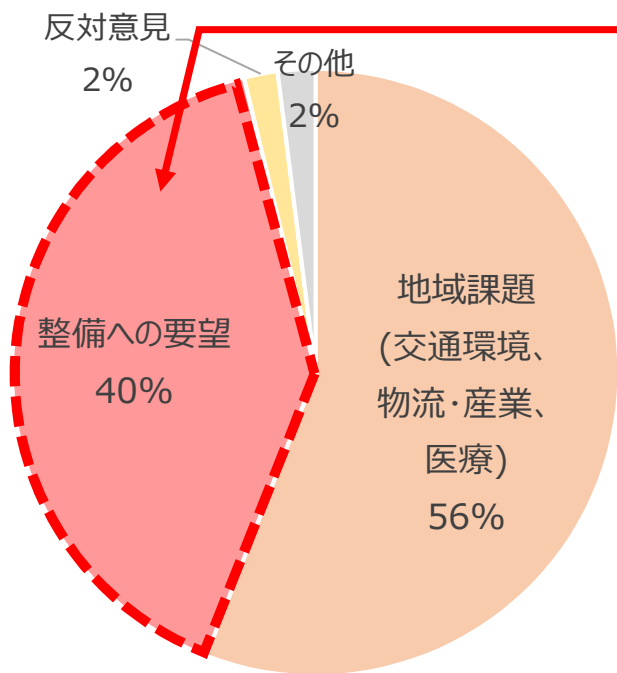

地域課題に対する冬期の意見が98%【冬期意見(4,575件) / 回答数合計(4,687件)】
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない

◆ 対象区間への意見については、提示した「地域課題」への意見の他、「整備への要望」に関する意見が約4割を占めている。地域課題についての意見は、質問②の回答と同じ傾向であった。

質問③ その他、国道13号(石町～榊柳間)に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(課題3項目以外)(回答者数4,721人)

【図1】自由意見の回答内訳(4,971件)



分類 ()内は冬期意見数	主な意見	
整備への要望 【2,005件】 (1,946件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 横手と大曲を繋ぐ主要な道路であり、道路沿いには住宅も並んでいるので、安全のためにももっと道幅を広げて欲しい。 バイパスも含め、快適(短時間、安全)に使える道路にしていきたい。
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 雪の影響を受けない道路を造って欲しい。 4車線化し、冬期間も安心して通行できるようにしてほしい。
反対意見 【89件】 (0件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 将来は人口減少により運転者も減少となるため、費用対効果を十分に考えることが必要と思います。 道路状況を心得て運転しているためこれといって不便は無い。
その他 【100件】 (27件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> 早く工事着手してほしい。 地域の発展のために、対象区間の整備が必要。
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> 地吹雪等による視界不良に配慮してほしい。

※地域課題(交通環境、物流、産業、医療)の意見数: 2,777件
 ※地域課題3項目以外の意見数: 2,194件、(うち冬期: 1,973件)

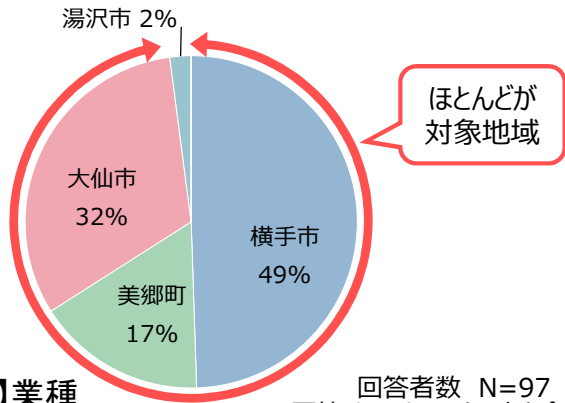
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

2-5.事業者への意見聴取の結果(属性・道路利用)

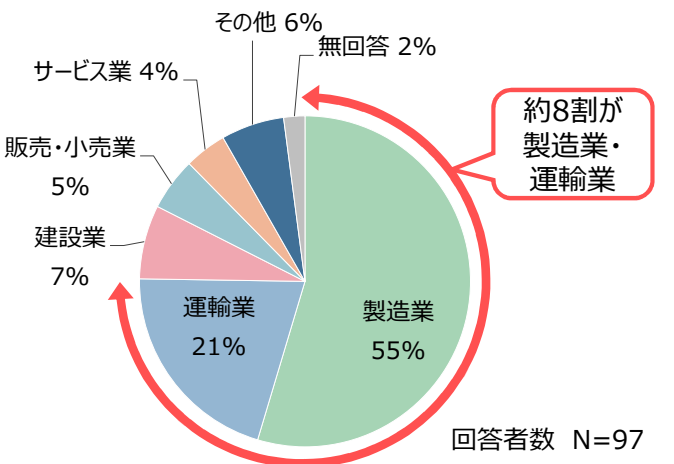
- ◆ アンケート結果は、ほとんどが対象地域からの回答であり、回答者の業種は、約8割が製造業・運輸業であった。
- ◆ 利用目的は「運送・運搬」が約4割、利用頻度は週1回以上の利用が約8割を占めている。
- ◆ 利用頻度の利用目的別は、「運送・運搬」の週1回以上の利用割合が高い。

貴事務所についてお聞かせください。

【図1】所在地

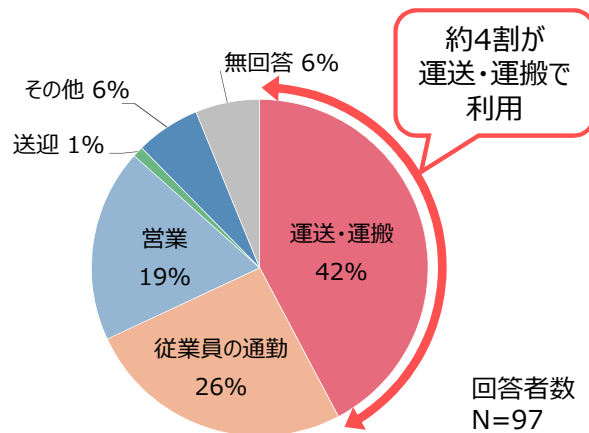


【図2】業種

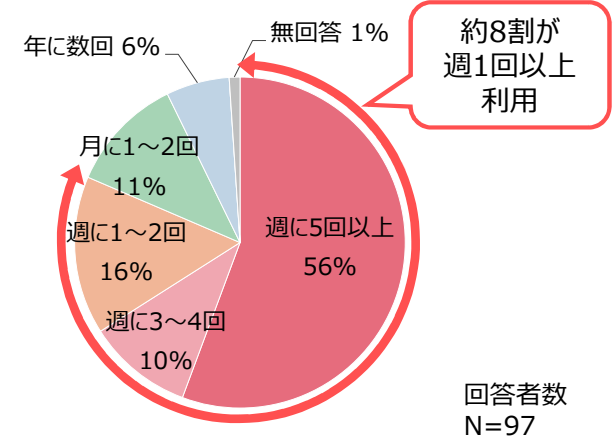


質問① 国道13号(石町～榊柳間)の道路利用についてお聞きします。

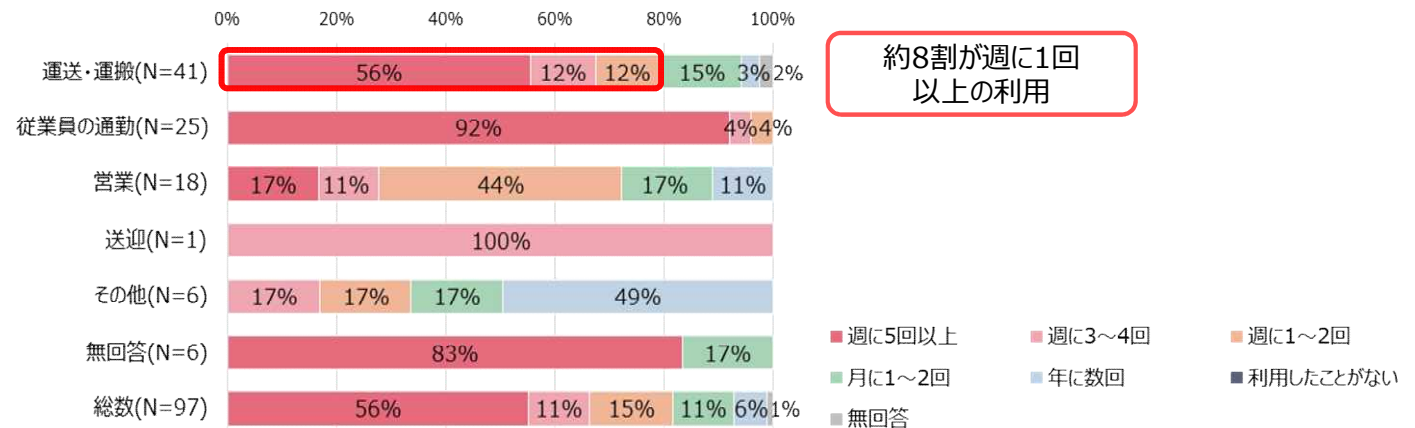
【図3】利用目的



【図4】利用頻度



【図5】利用頻度(利用目的別)



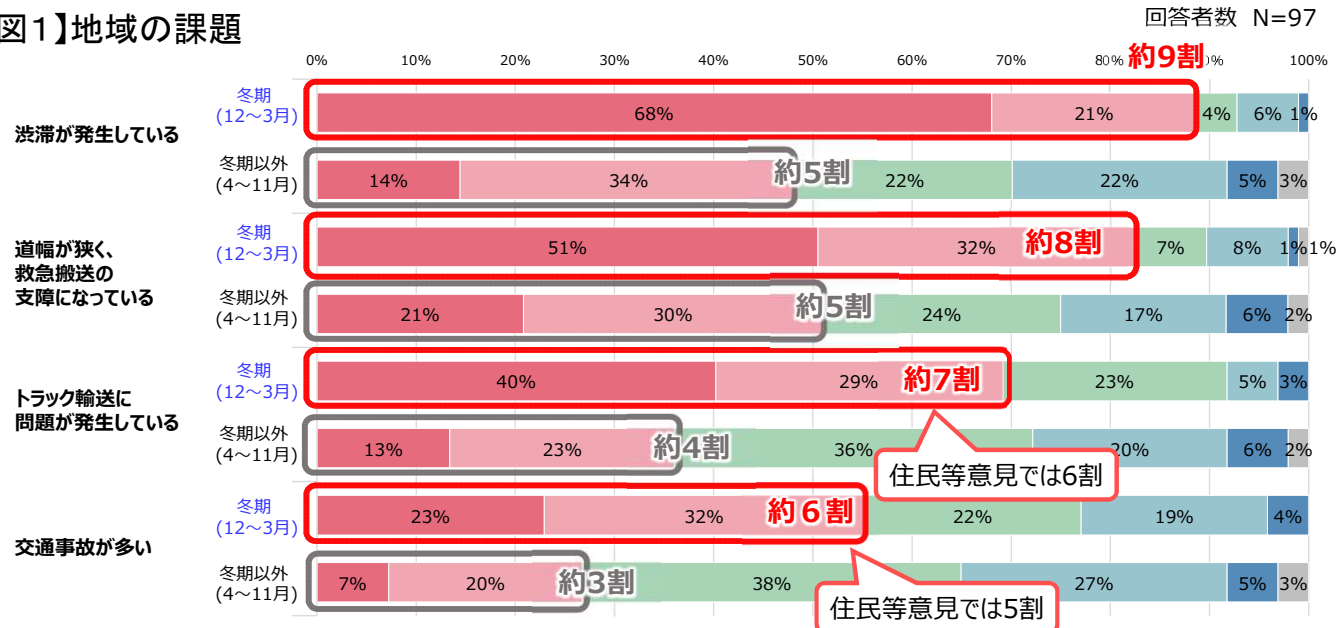
- ◆ 「渋滞が発生している」や「道幅が狭く、救急搬送の支障になっている」は、冬期で約8割以上が課題と感じている。
- ◆ 「トラック輸送に問題が発生している」と「交通事故が多い」は、住民等への意見聴取結果よりも冬期課題の認識が高い。
- ◆ 「トラック輸送に問題が発生している」は、冬期週1回以上の利用で課題の認識が高い。

質問② 課題についてお聞きします。
 ・以下の各項目について、「そう思う」～「全く思わない」の各5段階で評価し、あてはまる番号1つに○を付けてください。

- 質問②-1 課題について
- ・渋滞が発生している(冬期・冬期以外)
 - ・交通事故が多い(冬期・冬期以外)
 - ・トラック輸送に問題が発生している(冬期・冬期以外)
 - ・道幅が狭く、救急搬送の支障になっている(冬期・冬期以外)

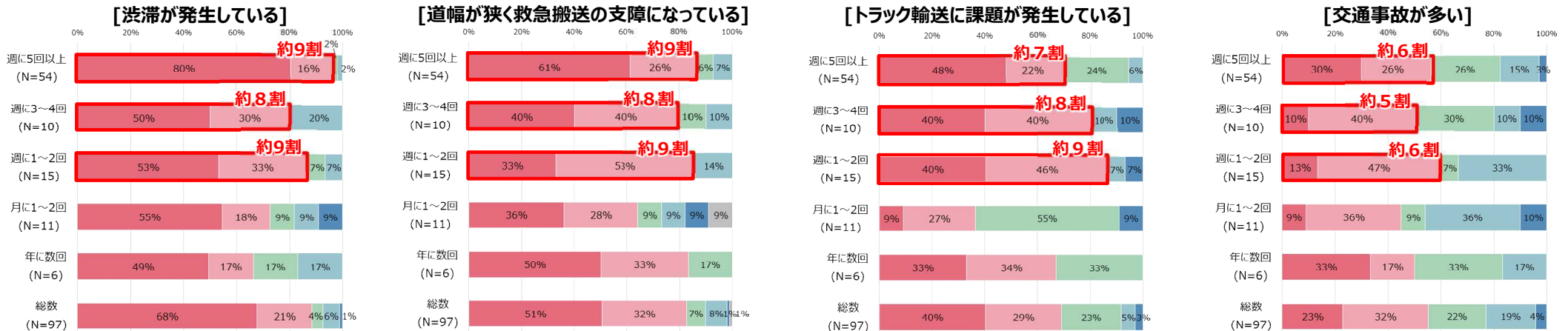
■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言いえない
 ■ あまり思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

【図1】地域の課題



【図2】冬期の利用頻度別集計(12~3月)

※地域課題は冬期に課題と感じている割合が高いことから冬期の利用頻度による課題集計



- ◆ 課題に対する自由意見について、全てが冬期の意見であった。
- ◆ 交通環境については「すれ違い時の接触リスク」等の意見、物流・産業については「集荷の遅れ」等の意見、医療については「救急車が来た時、道を譲れない」等の意見をいただいた。

質問② ○をつけた主な理由や、地域で困っていること改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(回答事業所数50事業所)

分類	() 内は冬期意見数		主な意見
地域課題 【51件】 (51件)	交通環境 【42件】 (42件)	【冬期】	・トラックだと冬期間はすれ違い時に接触のリスクが高いので困っている。 ・雪のため、道路幅員が狭くなり渋滞してしまうため、困っている。
	物流・産業 【8件】 (8件)	【冬期】	・冬期は通勤時間帯の渋滞がひどく集荷に遅れることがある。
	医療 【1件】 (1件)	【冬期】	・雪のため道路幅員が狭くなり大型車運転中に救急車が来た時、道を譲れない。
その他 【1件】 (1件)	整備への要望 【1件】 (1件)	【冬期】	・冬は道が狭くなり周辺には民家も多いため、バイパスが必要だと思います。

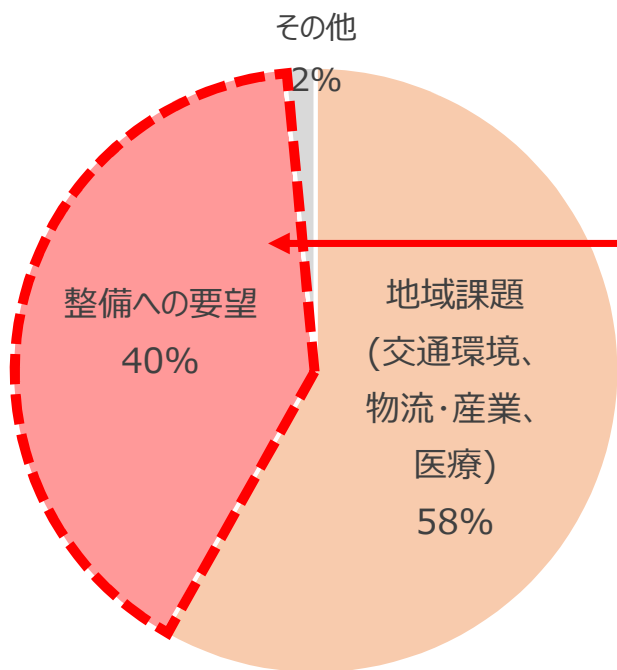

地域課題に対する冬期の意見が100%【冬期意見 (51件) / 回答数合計 (51件)】

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答事業所数と回答数合計は一致しない。

◆ 対象区間への意見については、提示した「地域課題」への意見の他、「整備への要望」に関する意見が約4割を占めている。地域課題についての意見は、質問②の回答と同じ傾向であった。

質問③ その他、国道13号(石町～榊柳間)に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【図1】自由意見の回答内訳(60件)



【表1】課題に対する自由意見(課題3項目以外)(回答事業所数50事業所)

分類 ()内は冬期意見数	主な意見	
整備への要望 【24件】 (21件)	【通年】	・追越禁止区間が長いので、 <u>4車線化</u> してほしい。
	【冬期】	・冬期は道路幅員が狭くなるため、 <u>横手市街地に向かう車線だけでも片側2車線化</u> してほしい。 ・歩行者を避けることが大変なため、 <u>4車線道路のような大きな道路を整備</u> してほしい。
その他 【1件】 (0件)	【通年】	・一部の道路が低くなっており <u>冠水して通行止めになったことがあるので、改善が必要</u> である。

※地域課題 (交通環境、物流、産業、医療) の意見数 : 35件
 ※地域課題3項目以外の意見数 : 25件、(うち冬期 : 21件)

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答事業所数と回答数合計は一致しない。

- ◆ 交通環境については、「石町～安本入口交差点間の渋滞」や「秋田道通行止め時の渋滞」等の意見があった。
- ◆ 物流・産業については、「渋滞による納品納入遅れ」や「揺れ等による品質への影響」等の意見があった。
- ◆ 医療については、「国道13号が救急搬送の主軸となっている」や「道路幅員が雪により更に狭くなり救急車が追い越せない」等の意見があった。

【表1】関係機関による主な意見(回答団体数25団体)

分類 () 内は冬期意見数		主な意見	
地域課題 【167件】 (109件)	交通環境 【133件】 (82件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・安本入口交差点の渋滞が頻繁に発生する。(製造業者) ・国道13号は走行車両も多く、石町～安本入口間で渋滞が発生する。(観光団体) ・2車線区間はすれ違うのもギリギリで、トラックなどのすれ違いは困難である。(福祉事業者) ・脇道や金沢中野地区の人家を出入りする車により急ブレーキが発生する。(福祉事業者)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は横手市内へ向かう車線(上り線)が特に渋滞し、5～10分程度は通常期よりも時間がかかる。(自治体) ・冬の方が渋滞しており、交差点・単路ともに雪で速度低下するほか、交差点は雪により右折レーンがなくなり更に渋滞する。(警察機関) ・大雪時に秋田道が通行止めになった際、国道13号を走る自動車が多くなり、渋滞がひどかった。(消防機関) ・雪壁により道路幅員が減少し見通しが悪い。歩道の雪のため歩行者が車道を歩行し車と接触しそうな時がある。(経済団体)
	物流・産業 【11件】 (10件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕の通勤時間帯は渋滞がひどく、空いている時間帯との時間差が非常に大きいため、納品納入までの時間が読み難いため到着に遅れることがある。(トラック協会)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は積雪による速度低下が原因で納品や納入が遅れるなど、定時制に問題がある。(トラック協会) ・冬期は特に安本入口交差点の渋滞が頻繁に発生するため、納品が遅れる。(製造業者) ・人家連坦部の雪壁から、突然車両が出てきて急ブレーキとなり、荷崩れを起こした。(製造業者)
	医療 【23件】 (17件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道13号に並行する農道等は、基本的に使わないため、国道13号が救急搬送の主軸となっている。(消防機関) ・渋滞により乗車時間が長くなることで、施設入居者の身体的負担が大きい。(福祉事業者)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・堆雪により道路幅員が狭くなるため、追い越しが困難である。(消防機関) ・雪による影響で救急車が揺れ、傷病者の負担になる。(消防機関) ・堆雪により道路幅員が狭くなり、一般車両が救急車を避けるスペースもなくなるため、道路を4車線化してほしい。(消防機関) ・冬期は病院への移動時間がよめない時があり、病院へ遅れることで治療も遅くなる。(福祉事業者)
その他 【23件】 (3件)	整備への要望 【23件】 (3件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道13号は高速道路の代替路線として、信頼性向上が望まれる。(自治体)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季間ホワイトアウトによる事故を防ぐため、防雪柵を設置して欲しい。(経済団体)

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答事業所数と回答数合計は一致しない。

【図1】意見聴取結果(課題図)

交通環境

渋滞・走行環境

【通年】

- ・朝夕に通勤者が多いため渋滞が発生する。
- ・国道13号は走行車両も多く、石町～安本入口間で渋滞が発生する。

【冬期】

- ・堆雪により道路幅員が狭くなりすれ違いに支障がある。
- ・特に冬期間、秋田自動車道が通行止めになった時の渋滞が激しい。
- ・特に冬期は歩道幅員が狭く車道を歩く人もいて危険。歩道を広げてほしい。

事故の危険性

【通年】

- ・追突事故が多い。
- ・右左折車による事故の可能性がある。

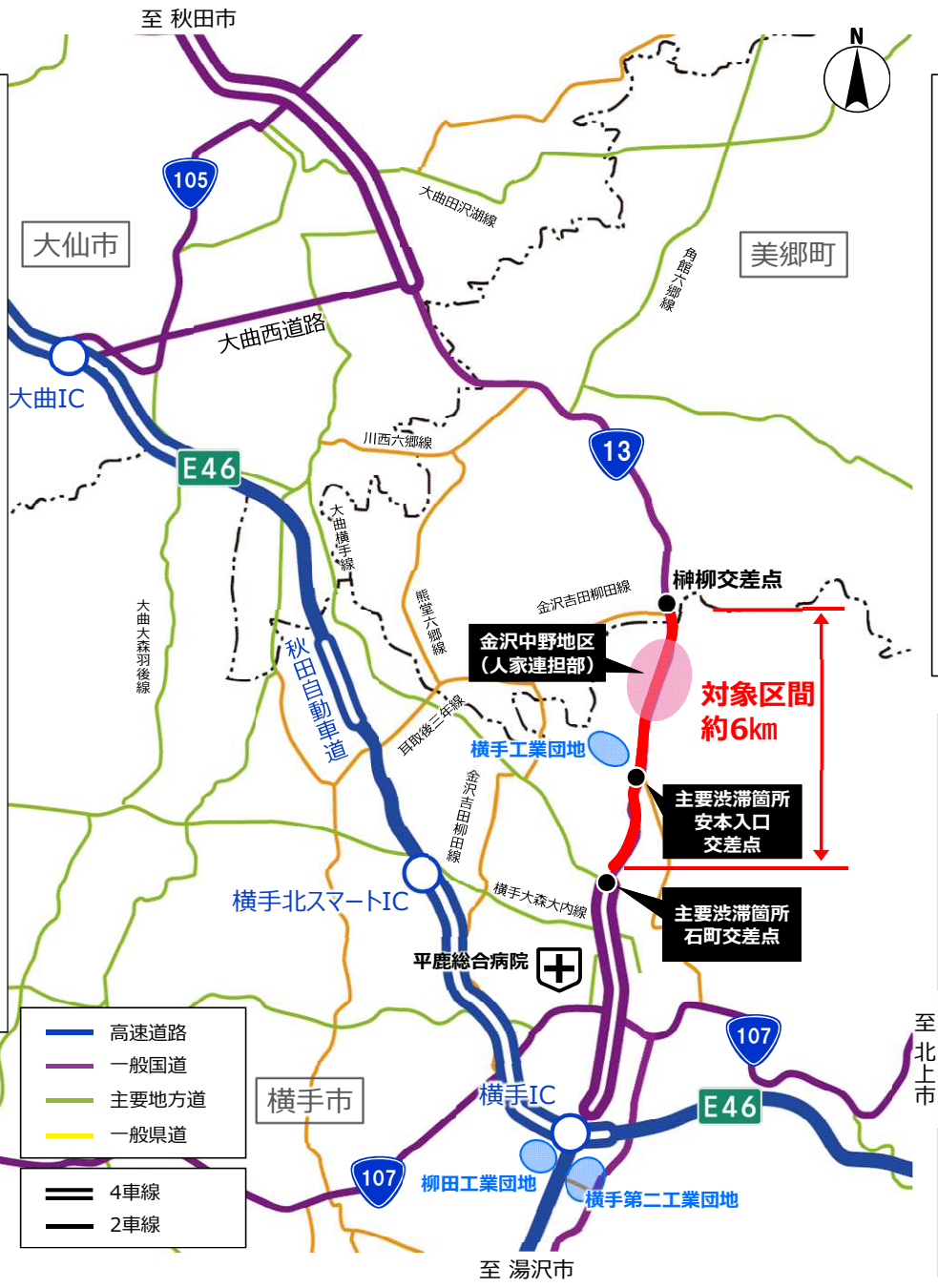
【冬期】

- ・道路幅員が狭いため対向車とぶつからないか不安である。
- ・金沢中野地区等、今冬のような大雪時に道路幅員が非常に狭くなり危険を感じる。

その他

【通年】

- ・国道13号は高速道路の代替路線として、信頼性向上が望まれる。
- ・災害時に確実に通れるようにしてほしい。



物流・産業

速達性の確保

【通年】

- ・通勤時間帯は渋滞がひどく納品納入にかかる時間が読み難く到着が遅れることがある。

【冬期】

- ・冬期は積雪による速度低下が原因で納品や納入が遅れる。
- ・対象区間は常に混んでおり、冬期間は運行の妨げになることが多い。
- ・人家連坦部の雪壁から、突然車両が出てきて急ブレーキとなり、荷崩れを起こした。

医療

救急搬送の安定性の阻害

【通年】

- ・道路幅員が狭いため、救急車がきても道をあけられない。
- ・国道13号が救急搬送の主軸となっている。

【冬期】

- ・堆雪により道路幅員が狭くなり一般車両が救急車を避けるスペースがなくなるため、道路を4車線化してほしい。
- ・雪による影響で救急車が揺れ、傷病者の負担になる。

2-8.意見聴取を踏まえた課題の再整理（交通環境①）

- ◆ 主要渋滞箇所周辺では通常期・冬期ともに速度低下が発生し、対象区間に平行する秋田道通行止め時は更に速度が低下。
- ◆ 冬期は堆雪による幅員狭小で、車両のすれ違いや歩道の歩行が困難となり、冬期の安全かつ安定した走行環境や歩行環境の確保が課題。

【図1】秋田道通行止め区間(令和2年12月16日)



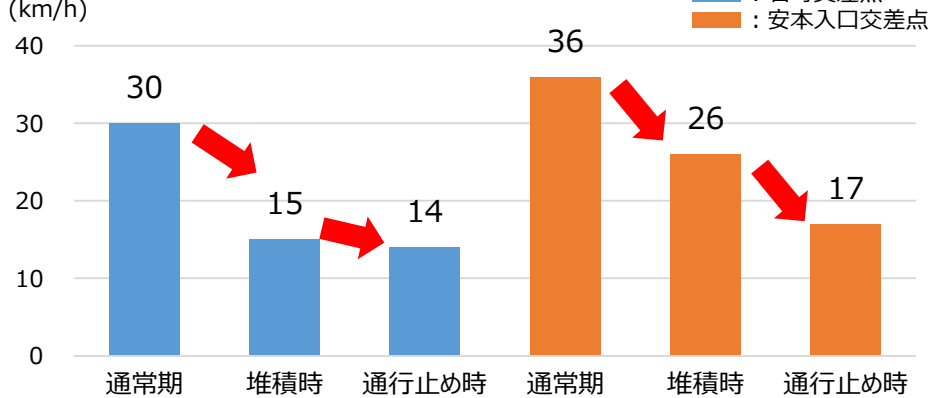
【写真①】石町交差点の渋滞状況



【写真②】堆雪時のすれ違い状況



【図2】主要渋滞箇所付近の速度変化



【写真③】車道を通る歩行者の状況



〔地域住民・地域事業団体の声〕

- ・2車線区間はすれ違うのもギリギリで、トラックなどのすれ違いは困難である。
(福祉事業者)
- ・特に冬期間、秋田自動車道が通行止めになった場合、渋滞が激しい。
(地域住民)
- ・特に冬期は歩道幅員が狭く車道を歩く人もいて危険。歩道を広げてほしい。
(地域住民)

資料：R3.1アンケート・ヒアリング結果

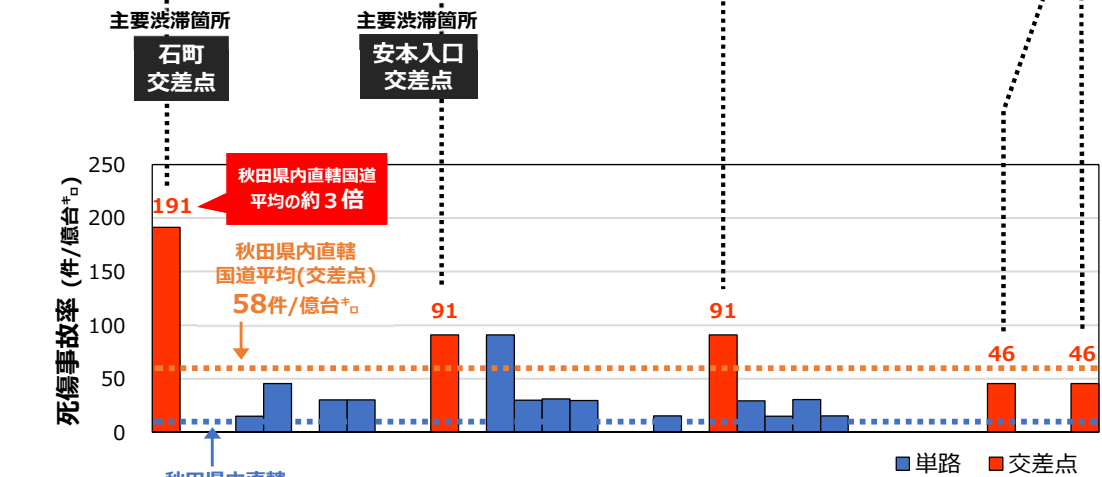
出典：ETC2.0データ（上り・ピーク時）

通常期：R2.9～R2.11平日8時台、堆雪時：R2.12～R3.2平日8時台（降雪があった日）
通行止め時：R2.12.16 13時台

2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（交通環境②）

- ◆対象区間では主要渋滞箇所などの交差点で事故が多く発生しており、混雑に起因する追突事故の発生割合が高い。
- ◆死傷事故率は交差点で特に高く、単路でも沿線企業の出入り部等で県内直轄国道平均よりも高く、安全性の確保が課題。

【図1】対象区間の事故発生状況



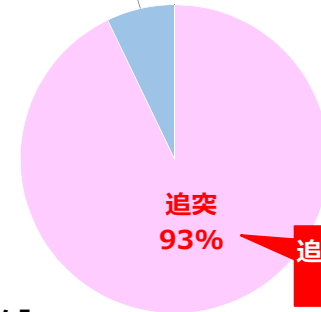
資料：[事故] イタルデータ 死傷事故率(H28-R1) 死亡事故件数(H17-R1)

【図2】対象区間と県内直轄国道の事故類型

【交差点】

対象区間

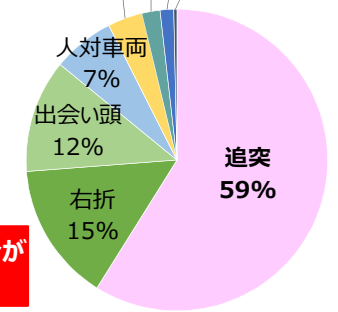
人対車両 7%



追突事故の割合が高い

県内直轄国道

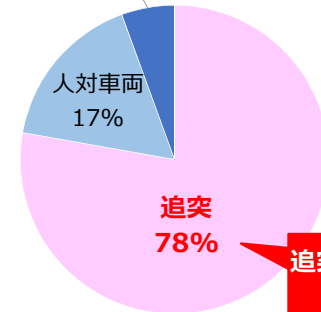
左折 2% 正面衝突 0.7% 車両単独 0.3%



【単路】

対象区間

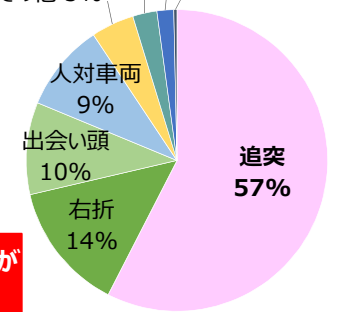
正面衝突 5%



追突事故の割合が高い

県内直轄国道

左折 3% 正面衝突 1.7% 車両単独 0.3%



資料：イタルデータ(H28-R1)

【地域住民の声】

- ・追突事故が多く、交差点で停止していて追突されたことがある。
- ・民家の多い地区では車の出入りが多く危険を感じる。
- ・企業から急にトラックが出てきて何度か追突しそうになった。

資料：R3.1アンケート結果

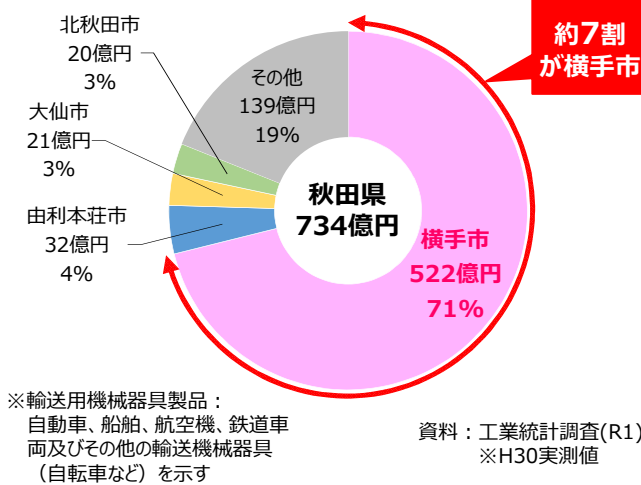
- ◆ 秋田県の輸送用機械器具製品の製造品出荷額は横手市が約7割を占め、新設増設企業も増加傾向で、そのうち約4割が自動車関連企業。
- ◆ 県内の自動車関連企業は、県外の手自動車企業へ連携して部品を製造・納品する新たな取組を始め部品の需要が高まっているが、堆雪による速度低下によって納品納入遅れが発生する等、定時性の確保が課題。

【図1】企業間連携による自動車部品の製造工程の例

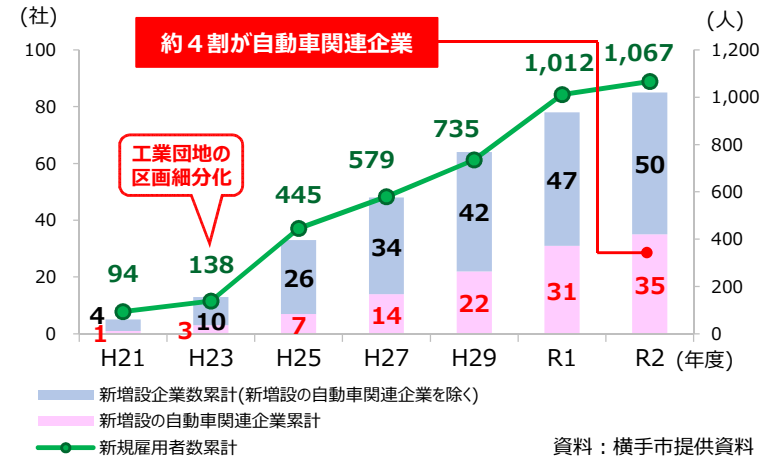


資料：東北の自動車関連マップ (R3.6) 自動車関連企業ヒアリング結果 (R3.4)

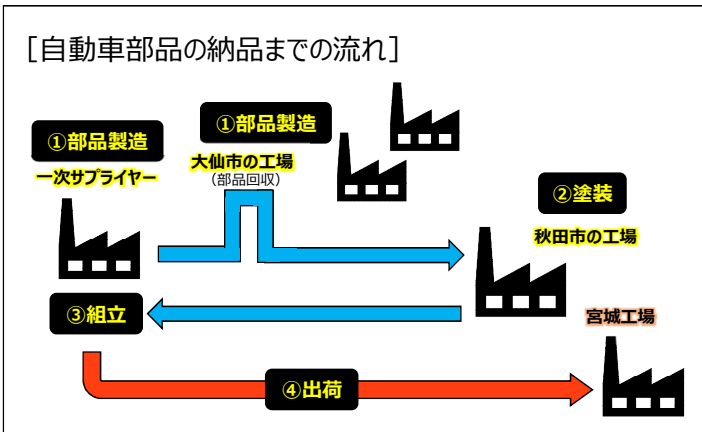
【図2】秋田県の輸送用機械器具製品の製造品出荷額の内訳 (H30)



【図3】横手市の新設増設企業と新規雇用者数の推移



【図4】自動車関連企業の連携状況



〔地域事業団体の声〕

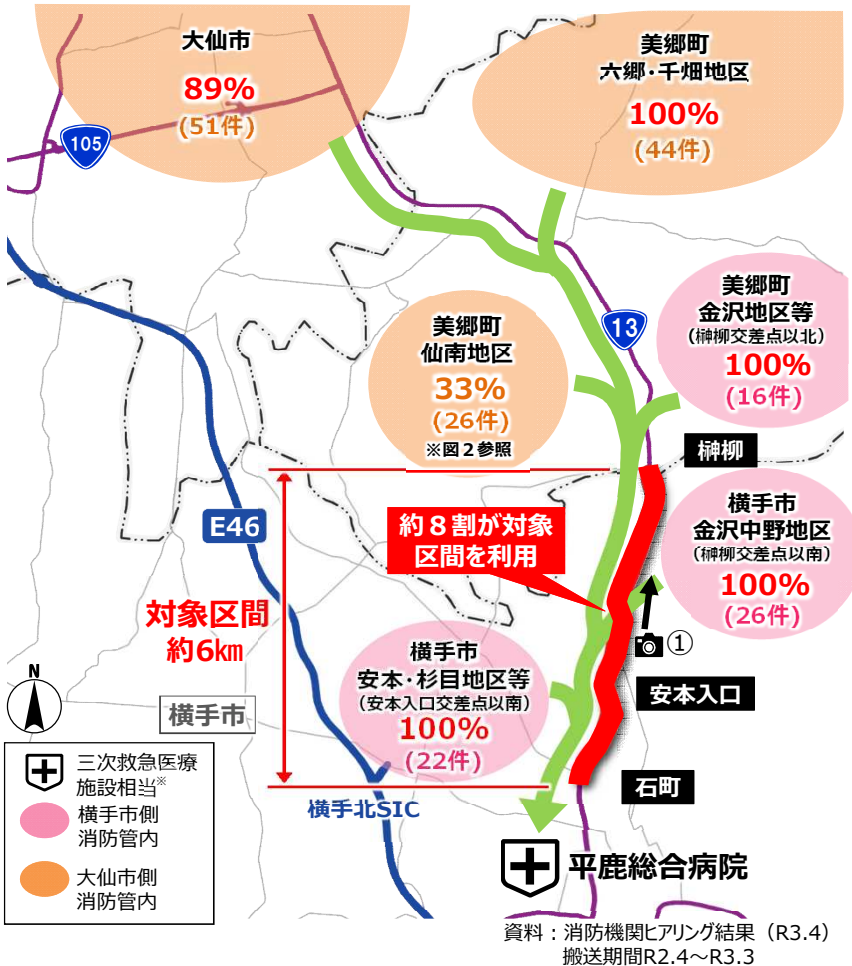
- ・安本入口交差点の渋滞が頻繁に発生するため、納品納入に支障をきたす。(製造業者)
- ・人家連坦部の雪壁から、突然車両が出てきて急ブレーキとなり、荷崩れを起こした。(製造業者)
- ・朝・夕の交通量の多さによる渋滞が原因で、取引先に間に合わなくなり、納品や納入が遅れるなど定時性に問題がある。冬期は積雪による渋滞で更に遅れが生じている。(トラック協会)

資料：R3.1アンケート・ヒアリング結果

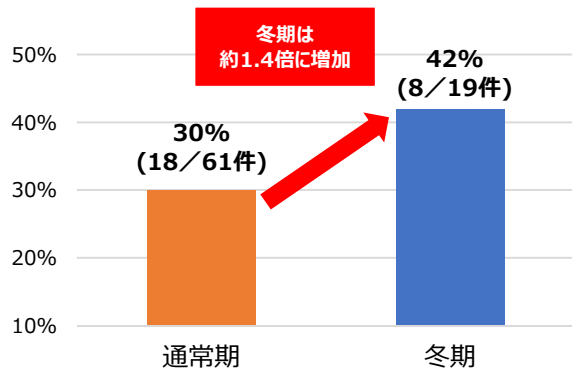
2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（医療）

- ◆対象地域の核となる平鹿総合病院への対象区間を利用した搬送は約8割と高く、美郷町仙南地区では冬期の利用割合が約1.4倍に増加。
- ◆冬期は堆雪による幅員狭小や渋滞で追越しが困難となることから、通常期に比べ約1.5倍の救急搬送時間が必要となり、安定性及び速達性の確保が課題。

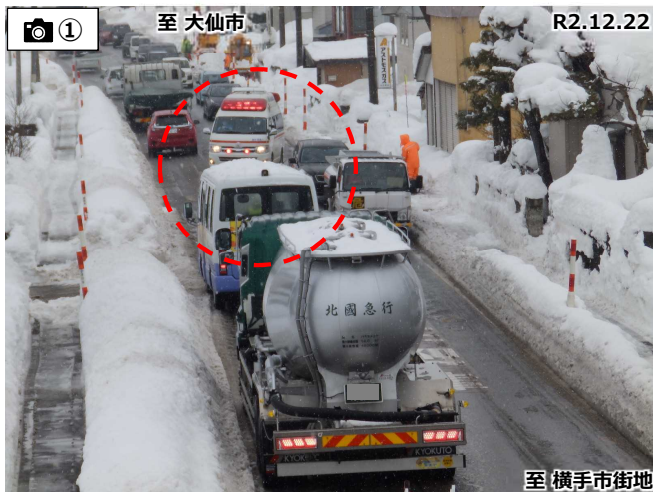
【図1】対象区間を利用した平鹿総合病院への署別救急搬送割合(件/年)



【図2】美郷町仙南地区の国道13号利用割合の変化



【写真1】冬期の救急搬送状況



【図3】救急搬送時間の変化



〔消防機関の声〕

- ・国道13号に並行する農道等は、基本的に使わない。そのため、**国道13号が救急搬送の軸**となっている。
- ・**道路幅員が狭く、追越しに時間がかかる。**
- ・**雪による影響で救急車が揺れ、傷病者の負担になる。**

資料：R3.1ヒアリング結果

※国から三次医療施設としての指定は受けていないものの、地域救急救命センターなど、三次医療に相当する施設・機能を有する病院

※パーセンテージは、平鹿総合病院への搬送件数のうち、対象区間を利用した件数の割合

※対象区間を利用した平鹿総合病院への搬送件数は76%（対象区間利用185件／全数245件）

2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（道路交通・地域の課題とその原因） 27

【表1】道路交通・地域の課題とその原因（第1回委員会提示案に意見聴取内容を反映）

	課 題	原 因
交通環境	<p>○走行の快適性・安全性の低下</p> <p>【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量が交通容量を超過し、主要渋滞箇所において速度低下が発生し、安定した走行環境の確保が課題 ・主要渋滞箇所などの交差点で事故が多く、死傷事故率は交差点や単路で県内直轄国道平均に比べ高く、安全性確保が課題 <hr/> <p>【冬期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期は堆雪による幅員狭小で、車両のすれ違いや歩道の歩行が困難となり、安全安心な走行環境や歩行環境の確保が課題。 ・秋田道の通行止め時は更に速度が低下し、冬期の安全かつ安定した走行環境の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通容量の不足 ○幅員狭小 ○冬期の走行環境悪化 ○混雑に起因する追突事故
物流・産業	<p>○不安定な物流ルート</p> <p>【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞による納品納入遅れが発生し、定時性の確保が課題 <hr/> <p>【冬期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期は堆雪により荷崩れの発生や速度低下による納品納入への遅れが生じ走行性や定時性、速達性の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通容量の不足 ○冬期の走行環境悪化
医療	<p>○救急搬送における安定性の阻害</p> <p>【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員が狭いため、追越しに時間がかかり安定性、速達性の確保が課題 <hr/> <p>【冬期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期は堆雪による幅員狭小や渋滞で、救急車両の追い越しが困難となり、安定性・速達性の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○幅員狭小 ○冬期の走行環境悪化

政策目標
(素案)

快適かつ安全な交通
環境の確保

円滑な物流ルートの
確保

安定した救急搬送
ルートの確保

※冬期課題に配慮

3. 政策目標の設定

3-1. 政策目標の設定

◆ 地域への意見聴取(第1回)の結果から、「快適かつ安全な交通環境の確保」「円滑な物流ルート確保」「安定した救急搬送ルート確保」の3項目を政策目標とする。

	交通環境	物流・産業	医療
道路交通・地域の課題	○走行の快適性・安全性の低下	○不安定な物流ルート	○救急搬送における安定性の阻害
地域の将来像	<p>【第3期ふるさと秋田元気創造プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆安全・安心な生活環境の確保 <p>【第2次横手市総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆広域的な交通ネットワークの構築 <p>【第2次美郷町総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆安心な環境の整備 <p>【第2次大仙市総合計画基本構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆広域的な道路網としての事業化 	<p>【第3期ふるさと秋田元気創造プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会の変革に果敢に挑む産業振興戦略 ◆秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略 <p>【第2次横手市総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新規企業の誘致・既存立地企業の事業拡大 <p>【第2次美郷町総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業支援制度等のPR <p>【第2次大仙市総合計画基本構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業ネットワークの活用 	<p>【第3期ふるさと秋田元気創造プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県土の保全と防災力強化 <p>【第2次横手市総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆救急医療体制の充実
住民や事業者への意見聴取結果	<p>【通年(冬期以外)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民、事業者ともに約5割が課題と認識 ・「幅員狭小による渋滞と事故の危険性」等の意見が寄せられた。 	<p>【通年(冬期以外)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民、事業者ともに約4割が課題と認識 ・「渋滞による納品納入への遅れ」等の意見が寄せられた。 	<p>【通年(冬期以外)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の約6割、事業者の約5割が課題と認識 ・「国道13号が救急搬送の主軸」等の意見が寄せられた。
	<p>【冬期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の約8割、事業者の約9割が課題と認識 ・「堆雪によるすれ違いへの支障や歩道の幅員狭小」等の意見が寄せられた。 	<p>【冬期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の約6割、事業者の約7割が課題と認識 ・「堆雪や速度低下による納品納入への遅れ」等の意見が寄せられた。 	<p>【冬期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民、事業者ともに約8割が課題と認識 ・「堆雪による幅員狭小で救急車の追越が困難」等の意見が寄せられた。

政策目標

快適かつ安全な交通環境の確保

円滑な物流ルートの確保

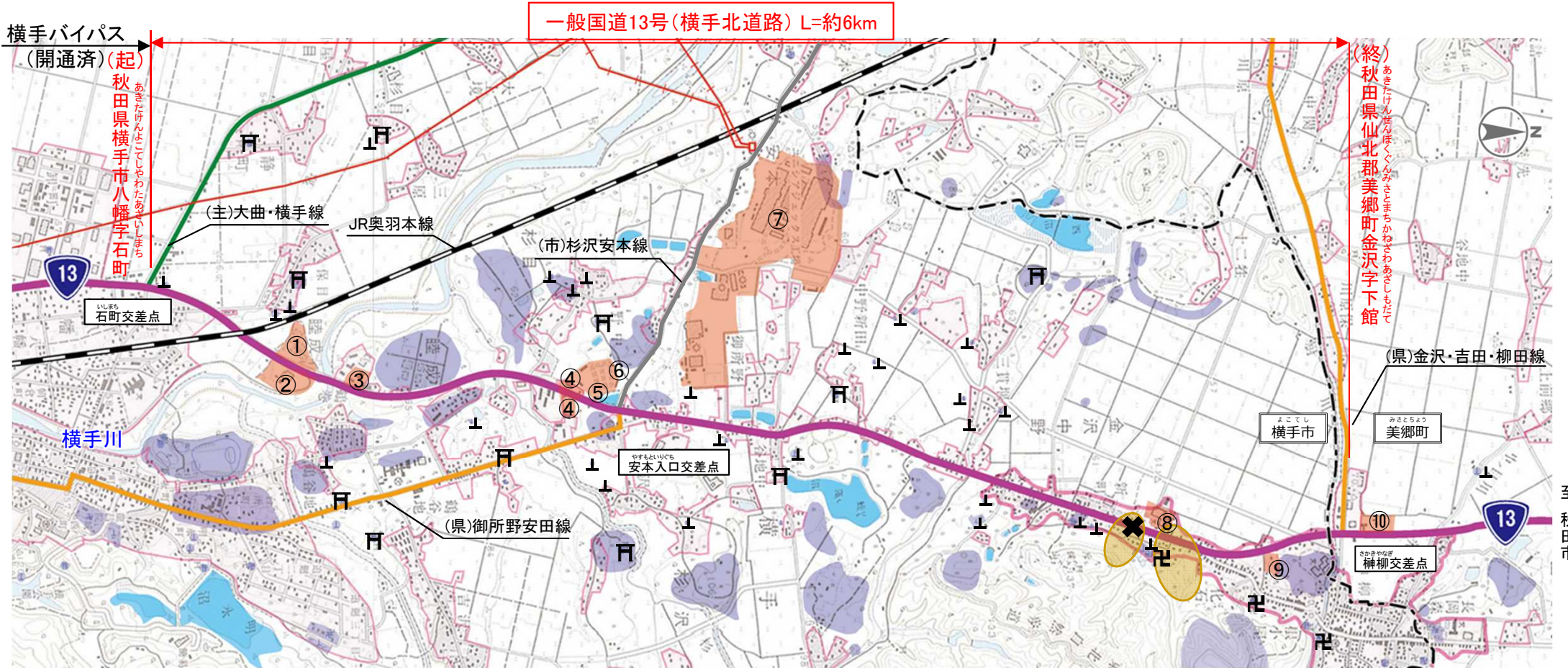
安定した救急搬送ルートの確保

※冬期課題に配慮

4. 対応方針(ルート帯案)の検討

4-1. 対策案のコントロールポイントの考え方(施設等)

◆ 対策案のコントロールポイントとしては、大規模事業所や公共施設、神社仏閣、墓地のほか、集落への影響を踏まえて設定。

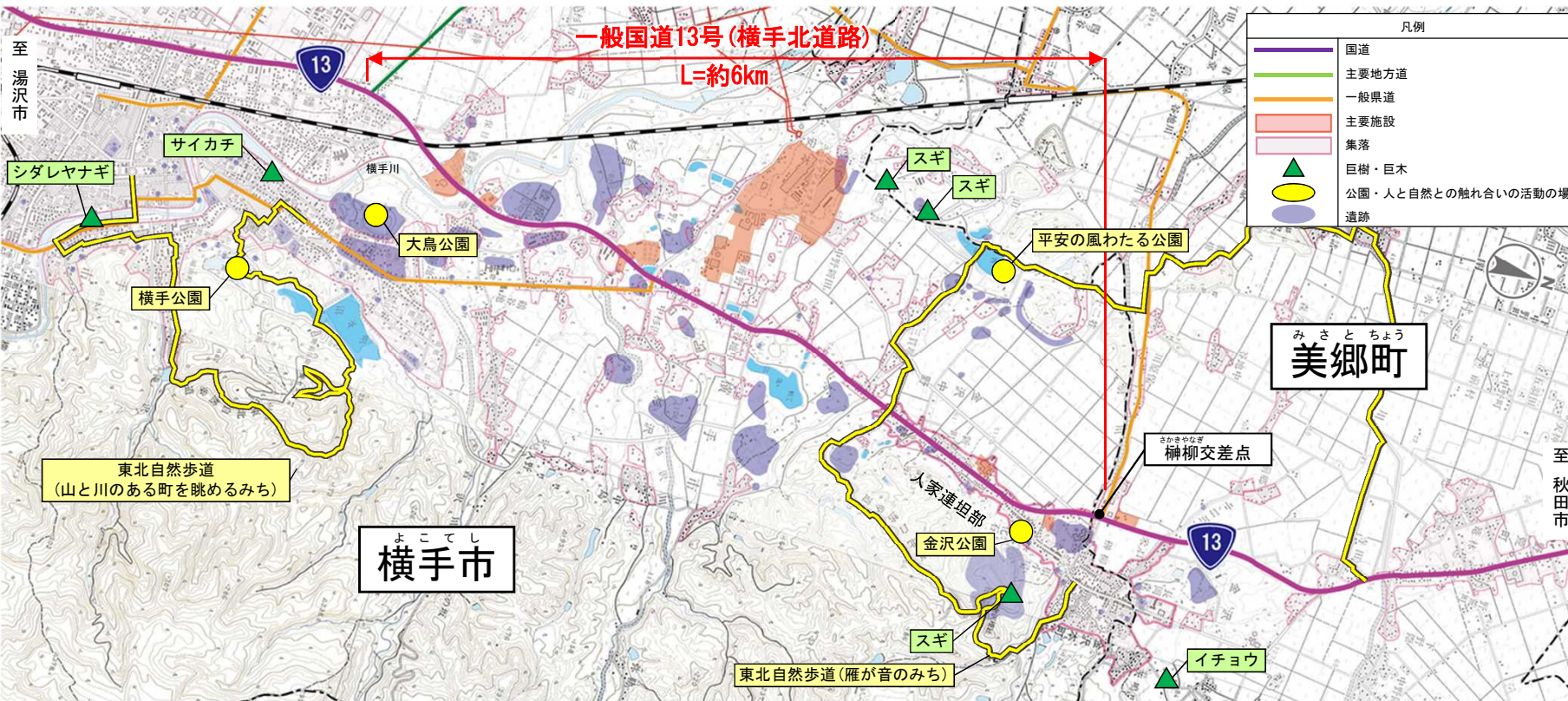


凡		例	
	国	道	寺 社 仏 閣
	主 要 地 方 道	↓	墓 地
	県	道	遺 跡
	市 町 村 道		
	河 川 ・ 池 ・ 沼		土 石 流 危 険 溪 流 土 砂 災 害 警 戒 区 域 (土 石 流)
	集 落		
	主 要 施 設		通 行 止 発 生 箇 所

- [施設等]
- ①養豚場
 - ②横手衛生センター
 - ③ガス会社
 - ④産業廃棄物収集処理施設
 - ⑤五郎兵工沼
 - ⑥自動車学校
 - ⑦横手工業団地
 - ⑧金沢孔城館 (金沢公民館)
 - ⑨後三年合戦金沢資料館
 - ⑩道の駅美郷

4-2. 地域に配慮すべき事項(自然環境)

◆ 既往調査結果から重要な動植物が分布しているため、影響を軽減する必要がある。



シナイモツゴ
 ・環境省：絶滅危惧IA類
 ・秋田県：絶滅危惧IA類

コイ目コイ科。日本固有種。最大全長8cm程度で、産卵期は4～5月。ジュンサイなどの植物が覆う池沼などの止水域や、流れの緩やかな水路などに生息する。



ゼニタナゴ
 ・環境省：絶滅危惧IA類
 ・秋田県：絶滅危惧IA類

コイ目コイ科。日本固有種で秋田県が分布の北限である。全長8cm程度で、産卵期は9～10月。平野部の浅い池沼や細流を主として生息する。

動物

■ 周辺で確認されている重要種

- ・シナイモツゴ (環境省：絶滅危惧IA類、秋田県：絶滅危惧IA類)
- ・ゼニタナゴ (環境省：絶滅危惧IA類、秋田県：絶滅危惧IA類)
- ・キタノアカヒレタビラ (環境省：絶滅危惧IB類、秋田県：絶滅危惧IB類)
- ・オオタカ (環境省：準絶滅危惧、秋田県：準絶滅危惧)
- ・サシバ (環境省：絶滅危惧II類、秋田県：準絶滅危惧)
- ・トウホクサンショウウオ (環境省：準絶滅危惧)
- ・ウラギンスジヒョウモン (環境省：絶滅危惧II類)
- ・マルタニシ (環境省：絶滅危惧II類)

他

植物

■ 周辺で確認されている重要種

- ・カラコギカエデ (秋田県：準絶滅危惧)
- ・ミクリ (環境省：準絶滅危惧、秋田県：留意種)

他

資料：「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月 環境省)
 ・「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2016－動物I」(平成28年3月 秋田県)
 ・「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2020－動物II」(令和2年3月 秋田県)
 ・「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2014－維管束植物」(平成26年3月 秋田県)

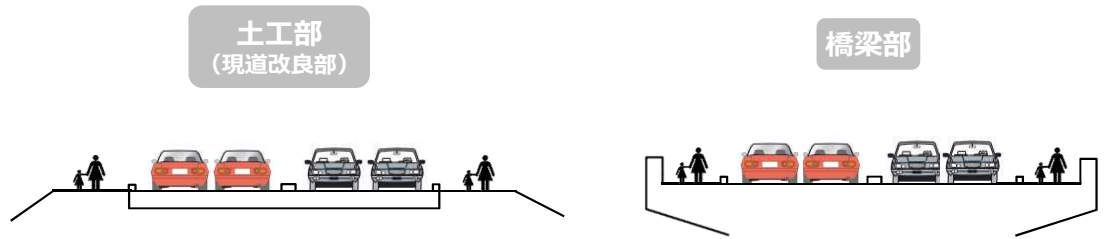
4-3. ルート帯案の検討 [案①: 現道改良(一部バイパス)案]

現道拡幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る。

■整備概要

延長	約6km	設計速度	V=60km/h
構造	土工、橋梁等		
コスト	約190億円～230億円		

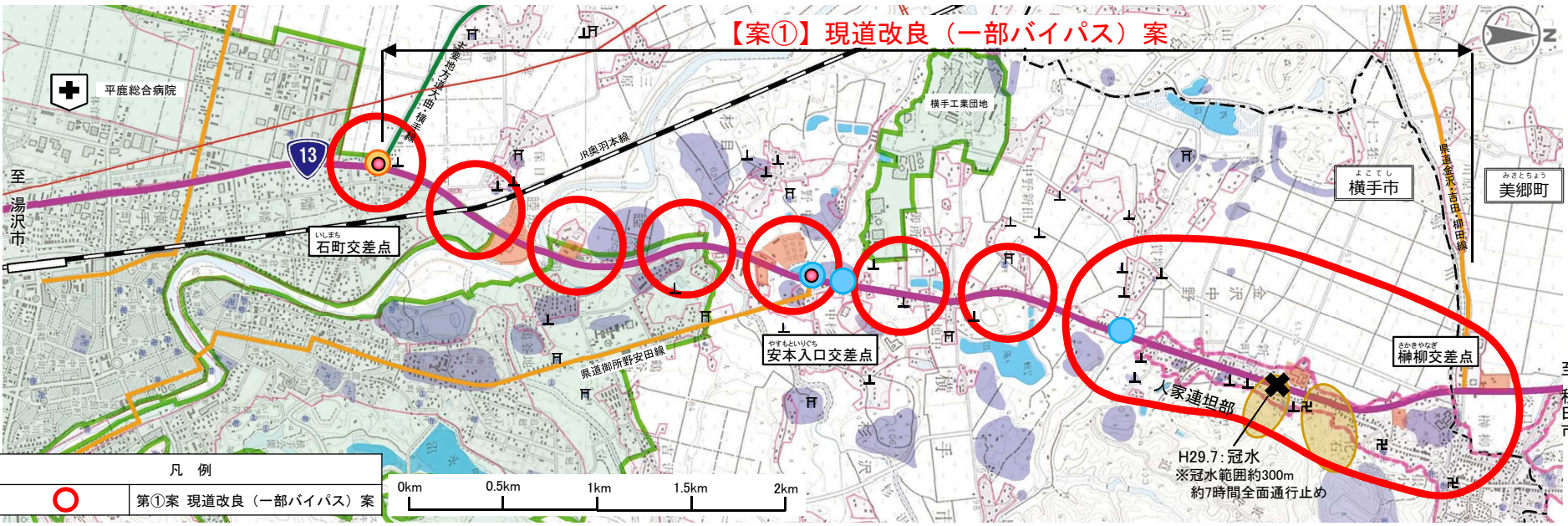
■代表断面図(イメージ)



■ポイント

- 交通容量が確保され、**渋滞緩和が図られる。**
- 必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境や**安全安心な歩行環境が確保される。**
- 沿線から本線への**アクセス性に優れる。**
- 人家連坦部を避けるものの、現道拡幅となるため、**沿道家屋等への影響が大きい。**
- 地形改変が小さいため**自然環境への影響が小さい。**

凡	例
	国 道
	主 要 地 方 道
	県 道
	河 川 ・ 池 ・ 沼
	集 落
	主 要 施 設
	用 途 地 域
	寺 社 仏 閣
	墓 地
	遺 跡
	通 行 止 発 生 箇 所 (H28～R2)
	土 砂 災 害 警 戒 区 域
	主 要 渋 滞 箇 所
	死 傷 事 故 率 100 件 / 億 台 キ ロ 以 上
	死 傷 事 故 率 50 件 / 億 台 キ ロ 以 上



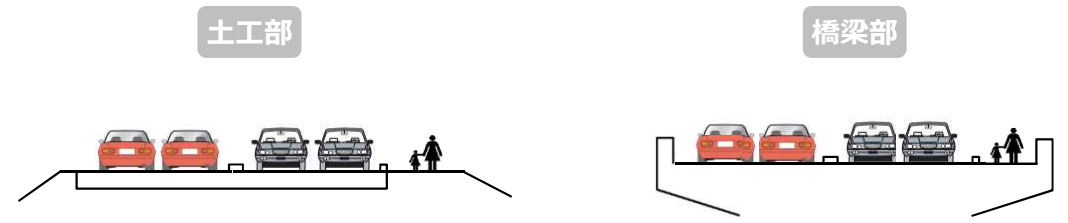
4-3. ルート帯案の検討 [案②:バイパス案]

◆ 全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る。

■ 整備概要

延長	約6km	設計速度	V=60km/h
構造	土工、橋梁等		
コスト	約360億円～400億円		

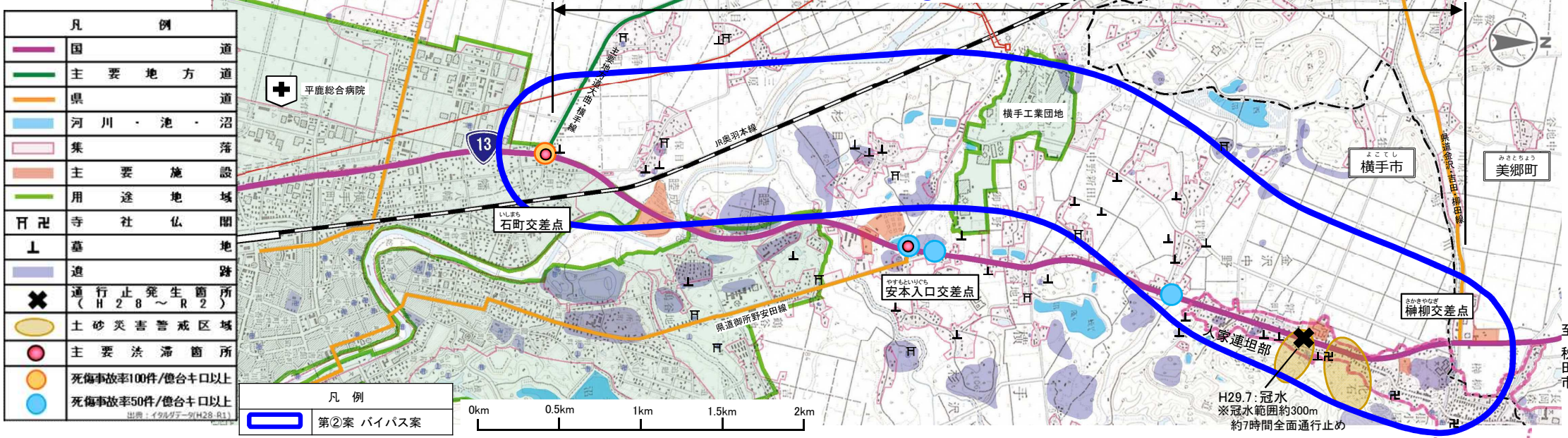
■ 代表断面図(イメージ)



■ ポイント

- バイパスへの交通転換により、**渋滞緩和が図られる。**
- 必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境は確保されるが、**現国道13号の歩行環境は現状と変わらない。**
- 沿線から本線への**アクセス性に劣る。**
- バイパス整備により、**沿線家屋等への影響が小さい。**
- 地形改変が大きいいため**自然環境への影響が大きい。**

【案②】バイパス案



4-4. 評価項目の設定

- ◆ 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、冬期の課題も踏まえて評価項目を設定した。
- ◆ 配慮すべき事項については、道路整備による影響等を考慮し、評価項目を設定した。

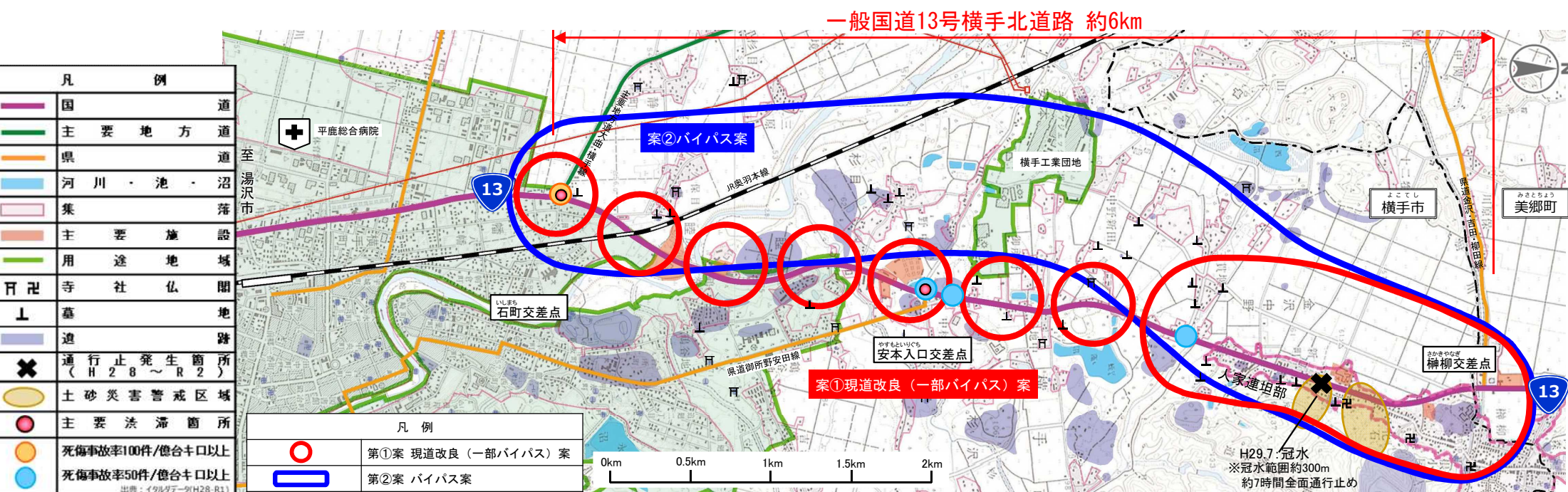
【表1】評価項目の設定

課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通環境	快適かつ安全な交通環境の確保	渋滞緩和が図られ、冬期も走行環境や歩行環境を改善し、安全性を向上する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞緩和 ・通行環境改善 ・交通事故減少
物流・産業	円滑な物流ルート確保	物流ルートとして走行性と定時性を確保し、業務の効率化を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・物流経路の走行性、定時性の向上
医療	安定した救急搬送ルートの確保	高次医療施設への安定した走行と速達性の向上を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送の安定性、速達性の向上

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
沿線環境	<ul style="list-style-type: none"> ・現道沿線住民への影響
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道家屋への影響
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地形・自然環境の改変
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に関する費用

4-5. 対策案の比較



比較項目		【案①】現道改良（一部バイパス）案 約6km	【案②】バイパス案 約6km
ルートの概要		現道幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案	全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案
設計速度		60km/h	60km/h
政策目標	快適かつ安全な交通環境の確保	渋滞緩和	交通容量が確保され、渋滞緩和が図られる。
		通行環境改善	必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境や安全安心な歩行環境が確保される。
		交通事故減少	渋滞緩和による追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。
	円滑な物流ルートの確保	物流経路の走行性、定時性の向上	渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。
安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送の安定性、速達性の向上	渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。	
配慮すべき事項	沿線環境	現道沿線住民への影響	沿線から本線へのアクセス性に優れる。
	生活環境	沿道家屋への影響	人家連坦部を避けるものの、現道拡幅となるため、沿線家屋等への影響が大きい。
	自然環境	地形・自然環境の改変	地形改変が小さいため自然環境への影響が小さい。
	経済性	整備に関する費用	約190～230億円
		約360～400億円	

5. 第2回地域の意見聴取の方法

◆ 地域の意見聴取(第2回)の内容は、地域や道路交通の課題を解消するために示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

1. 地域の意見聴取(第2回)の内容

調査項目	把握する内容	回答方法	備考
1. 属性	年齢、職業、性別	選択式(単一回答)	第1回と同様の意見聴取項目
	住所、第1回アンケート回答の有無	選択式(単一回答)	
2. 国道13号の利用状況について	主な利用目的	選択式(単一回答)	第1回と同様の意見聴取項目
	利用頻度	選択式(単一回答)	
	主な移動手段	選択式(単一回答)	
3. ルート帯案を検討する際に重視すべき項目	<p>どのようなことに重視して計画をすべきか</p> <p>【政策目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①渋滞緩和 ②通行環境改善 ③交通事故減少 ④円滑な物流ルートの確保 ⑤安定した救急搬送ルートの確保 <p>【配慮すべき事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥沿線環境 ⑦生活環境 ⑧自然環境 ⑨経済性 	選択式(複数回答)	第2回意見聴取項目
	重視すべき理由	自由回答	
4. その他	他に重視すべき項目	自由回答	第2回意見聴取項目

5-1. 地域の意見聴取(第2回)の対象者と方法

2. 意見聴取の対象(案)

■アンケートによる意見聴取の対象(案)

項目		調査手法・規模
地域住民	横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)	意見聴取範囲の全戸を対象とした郵送配布(約3.7万世帯)
事業者等	沿線事業所	横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)の製造業者 沿線の物流業者 郵送配布(約180事業所)
道路利用者	沿線の道路利用者	WEB 留置(市役所、役場、道の駅等)

■ヒアリング調査による意見聴取の対象(案)

調査対象団体 (25社・団体)			
関係団体	○横手市、美郷町、大仙市	○経済団体【3団体】	○自動車関連企業【3社】
	○秋田県	○トラック協会【1団体】	○福祉施設【2団体】
	○観光協会【3団体】	○農業協同組合【2団体】	○医療施設【1団体】
	○バス協会【1団体】	○消防機関【2団体】	
	○警察機関【1団体】	○学校【2団体】	

3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目
秋田県及び横手市、美郷町、大仙市HPに意向調査(WEB)のバナーを設置
自治体の広報紙への掲載や湯沢河川国道事務所HP等で幅広く広報を実施

4. 意見聴取期間 5. 実施主体

◇2ヶ月程度

◇国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

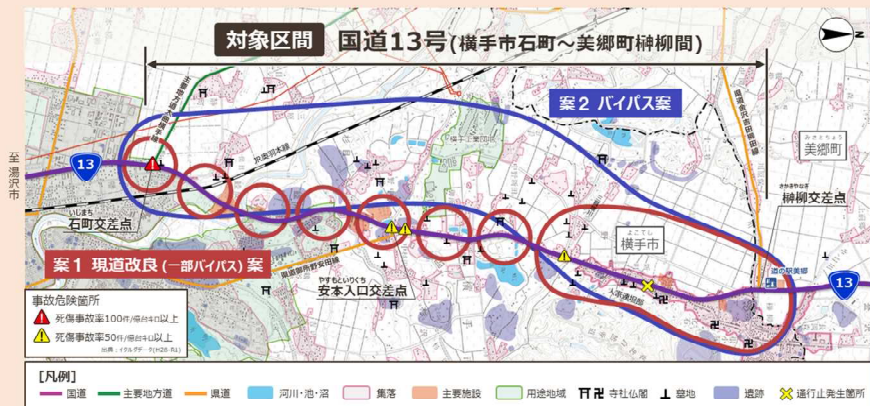
■配布範囲



[アンケート票 表面]

対応方針(ルート帯)の考え方

- 案1 現道改良(一部バイパス)案** 現道幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案です。
- 案2 バイパス案** 全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案です。



比較項目		案1 現道改良(一部バイパス)案 約6km	案2 バイパス案 約6km
ルートの概要			
設計速度		60km/h	60km/h
政務目標	快適かつ安全な交通環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和が図られる。 必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境や安全安心な歩行環境が確保される。 渋滞緩和による追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。 	<ul style="list-style-type: none"> バイパスへの交通転換により、渋滞緩和が図られる。 必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境は現状と変わらない。 渋滞緩和により追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。
	円滑な物流ルートの確保	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。
	安定した救急搬送ルートの確保	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。
配慮すべき事項	沿線環境	<ul style="list-style-type: none"> 沿線から本線へのアクセス性に優れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線から本線へのアクセス性に劣る。
	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 人家連田部を避けるもの、現道幅となるため、沿線家屋等への影響が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> バイパス整備により、沿線家屋等への影響が小さい。
	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地形変化が小さいため自然環境への影響が小さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形変化が大きいため自然環境への影響が大きい。
経済性	整備に関する費用*	約190~230億円	約360~400億円

*現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合があります。

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道13号 横手北道路 (横手市石町~美郷町榊柳間) 道路計画に関するアンケート

全4問 (約4分程度)

- 今回のアンケートと道路計画の流れ
- 地域や道路交通の現状と課題の整理
- 第1回アンケート
- 政策目標の設定 対応方針案の検討
- 今回 第2回アンケート
- 対応方針の決定



県南・中央地域を結ぶ国道13号 横手北道路(横手市石町~美郷町榊柳間)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

- 詳しくは「東北地方整備局 湯沢河川国道事務所のHP」へアクセス願います。
- インターネットによる回答を行う場合は下記のQRコードか、「湯沢河川国道事務所」で検索し、右記のバナーからアクセスしてください。

お問い合わせ 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課

TEL 0183-73-5559

FAX 0183-72-2488

(平日 9:00~17:00)

締め切り

令和4年●月●日(●)までをお願いします。



©2015 秋田県人だっちゃん

[アンケート票 裏面]

第1回アンケートでは地域や道路の課題についてご意見をいただきました。

1 渋滞が発生している

●トラックや通勤・通学する自動車で渋滞し、冬期は幹線道路である国道13号にさらに交通が集中し、更に渋滞しています。

▼通勤通学時間帯の渋滞分担率

時期	約1割(約)	約3割(約)	約6割(約)
通常期	49%	33%	18%
冬期	40%	33%	27%

出典：「プロシミュレーション」@交通情報データ | 株式会社プロシミュレーション

2 交通事故が多い

●対象区間では交差点部で追突事故が多く発生しており、全体の約9割を占めています。

▼対象区間の事故種別

種別	割合
追突	85%
出会い頭	3%
人対車両	3%
正面衝突	9%

出典：イタルデータ (H27-H30 通車)

3 トラック輸送に問題が発生している

●対象区間周辺は自動車関連企業が増加傾向です。

●冬期は渋滞や雪による影響で輸送部品に遅れが生じ、部品の性能に影響が出る等、問題が発生しています。

▼横手市の新設増設企業

業種	H21	H23	H25	H27	H29	R1 (推定)
製造業	1	5	10	26	34	42
建設業	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	1	5	10	26	34	42

出典：横手市産業資料

4 道幅が狭く、救急搬送の支障になっている

●冬期は降雪で道路の幅が狭く、車両の追越しが困難となり、救急搬送の支障になっています。

▼冬期の救急搬送状況

出典：消防本部

ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています。

政策目標

快適かつ安全な交通環境の確保

- 1 渋滞緩和
- 2 通行環境改善
- 3 交通事故減少
- 4 円滑な物流ルートの確保
- 5 安定した救急搬送ルートの確保

配慮すべき事項

- 6 沿線環境
- 7 生活環境
- 8 自然環境
- 9 経済性

©2015 有限会社.....

※ たくさんのご回答ありがとうございました!!

第1回アンケート結果の概要

対象区間の利用目的

●住民・道路利用者 回答数 14,120 票

●事業者 回答数 97 票

利用目的	住民・道路利用者 (%)	事業者 (%)
送迎	4%	19%
通勤	10%	26%
通学	18%	26%
送迎・送迎	27%	42%
送迎・送迎	30%	42%
送迎・送迎	27%	42%
送迎・送迎	27%	42%

対象区間の利用頻度

頻度	住民・道路利用者 (%)	事業者 (%)
週に5回以上	2%	1%
週に3~4回	19%	6%
週に1~2回	31%	11%
月に1~2回	20%	16%
年に数回	9%	10%
利用したことがない	18%	56%
無回答	0%	0%

課題の認識 [冬期(12月~3月)]

課題	住民・道路利用者 (%)	事業者 (%)
渋滞が発生している	56%	24%
道幅が狭く、救急搬送の支障になっている	52%	25%
トラック輸送に問題が発生している	31%	27%
交通事故が多い	18%	27%

地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました

案1 現道改良(一部バイパス)案

現道幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案

案2 バイパス案

全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案

詳細は裏面をご覧ください >>>

【地域住民用】

【質問票 表面】

国道13号 横手北道路 道路計画に関する 第2回アンケート調査

全4問 (約4分程度)

県南・中央地域を結ぶ国道13号 横手北道路(横手市石町~美郷町榑柳間)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

▼ 回答方法は **Web** または **はがき** からお選びいただけます。

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください。

① スマートフォンから
スマートフォンで右のQRコードからアクセスしてください。回答フォームが開きます。

② パソコンから
「湯沢河川国道事務所」で検索し、「国道13号 横手北道路」のページをクリックしてください。

はがきで回答する 本誌の回答はがき に回答をご記入いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

① 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。

② 回収ボックスに投函
湯沢河川国道事務所、横手市・美郷町・大仙市の市役所・役場、道の駅(十文字・美郷)等の回収ボックスに投函してください。

※より多くの方のご意見をお聞きするため、回答はがきは **各世帯に2枚** 送付しています。ご家族やお知り合いの方でご協力いただける場合は、お手数ですがアンケート票をお近くの市役所・役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用ください。

回答はがき ※回答はがきは2枚あります。 締め切り 令和4年 〇月 〇日(〇)

お一人様1枚ずつの回答をお願いします。

郵便はがき 1枚目

湯沢局承認 44

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 調査第二課
アンケート事務局 行

あなたについてお聞かせください

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	性別	男・女
職業	会社員・公務員・自営業 学生・主婦・主夫・無職 その他()	性別	男・女
住所	郵便番号 [] [] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []		
第1回アンケートへの回答	<input type="checkbox"/> 回答した <input type="checkbox"/> 回答していない		

※個人情報をお意欲なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます。) ⇒裏面に続きます

郵便はがき 2枚目

湯沢局承認 44

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 調査第二課
アンケート事務局 行

あなたについてお聞かせください

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	性別	男・女
職業	会社員・公務員・自営業 学生・主婦・主夫・無職 その他()	性別	男・女
住所	郵便番号 [] [] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []		
第1回アンケートへの回答	<input type="checkbox"/> 回答した <input type="checkbox"/> 回答していない		

※個人情報をお意欲なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます。) ⇒裏面に続きます

【質問票 裏面】

質問票

(回答はがきに記入をお願い致します。)

問1 国道13号(石町~榑柳間)の道路利用についてお伺いします。(それぞれ当てはまるものひとつに○を付けてください)

A. 主な利用目的 (主なものひとつに○)	1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物 4. 仕事(営業・運送等) 5. ドライブ・レジャー 6. 利用しない(※問2△) 7. その他(カッコ内にご記入ください)
B. 利用頻度 (ひとつに○)	1. 週に5回以上 2. 週に3~4回 3. 週に1~2回 4. 月に1~2回 5. 年に数回
C. 移動手段 (主なものひとつに○)	1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

問2 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

1. 渋滞が緩和されること	6. 整備される道路に対し沿線からの乗り入れがしやすいこと
2. 必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること	7. 沿道の建物に対する影響が小さいこと
3. 事故が少なく安全に走行できること	8. 自然環境への影響が小さいこと
4. 物流経路の走行性・定時性が向上すること	9. 整備にかかる費用が安いこと
5. 救急搬送の安定性・迅速性が向上すること	

問3 問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

問4 問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

国道13号(石町~榑柳間) アンケート調査 回答欄 2枚目

問1. それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

A. 主な利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B. 利用頻度	1	2	3	4	5		
C. 利用手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

1. 渋滞が緩和されること	<input type="checkbox"/>
2. 必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること	<input type="checkbox"/>
3. 事故が少なく安全に走行できること	<input type="checkbox"/>
4. 物流経路の走行性・定時性が向上すること	<input type="checkbox"/>
5. 救急搬送の安定性・迅速性が向上すること	<input type="checkbox"/>
6. 整備される道路に対し沿線からの乗り入れがしやすいこと	<input type="checkbox"/>
7. 沿道の建物に対する影響が小さいこと	<input type="checkbox"/>
8. 自然環境への影響が小さいこと	<input type="checkbox"/>
9. 整備にかかる費用が安いこと	<input type="checkbox"/>

問3. 重視すべきと思われる理由

問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

問4. 他に重視すべきと思われること

問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

ご協力ありがとうございました

国道13号(石町~榑柳間) アンケート調査 回答欄 1枚目

問1. それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

A. 主な利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B. 利用頻度	1	2	3	4	5		
C. 利用手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

1. 渋滞が緩和されること	<input type="checkbox"/>
2. 必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること	<input type="checkbox"/>
3. 事故が少なく安全に走行できること	<input type="checkbox"/>
4. 物流経路の走行性・定時性が向上すること	<input type="checkbox"/>
5. 救急搬送の安定性・迅速性が向上すること	<input type="checkbox"/>
6. 整備される道路に対し沿線からの乗り入れがしやすいこと	<input type="checkbox"/>
7. 沿道の建物に対する影響が小さいこと	<input type="checkbox"/>
8. 自然環境への影響が小さいこと	<input type="checkbox"/>
9. 整備にかかる費用が安いこと	<input type="checkbox"/>

問3. 重視すべきと思われる理由

問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

問4. 他に重視すべきと思われること

問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

ご協力ありがとうございました

